

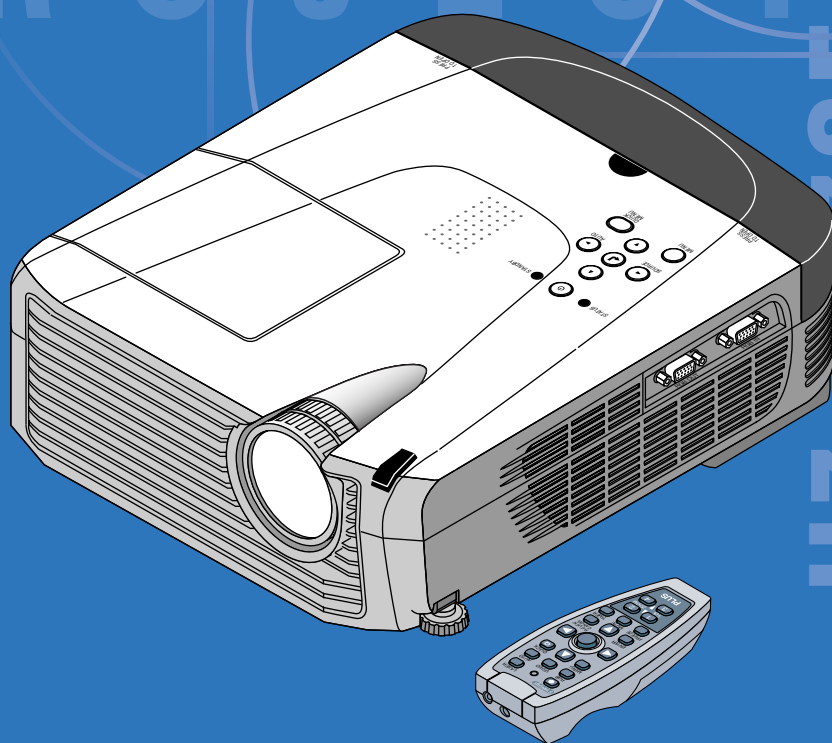
PLUS

デジタルプロジェクタ

U7-137SF

U7-132SF/U7-132hSF

取扱説明書



保証書別添付

このたびは プラス デジタルプロジェクタ をお買いあげいただきありがとうございました。

ご使用の前に、本機の機能を十分生かしてご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読みください。

お読みになったあとは、「保証書」とともに、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときには、この「取扱説明書」をお読みください。

本書は型名U7-132SF/U7-132hSF/U7-137SFの共通取扱説明書です。

表示解像度と投映距離は同じですが、CF（コンパクトフラッシュ）カードや無線LANカードおよび有線LANを使用できる機能の有無があります。

詳しくは、下表をご確認ください。

本書はU7-137SF（フル機能）で説明しております。

型名	CFカード/無線LANカード機能	有線LAN機能	USBメモリ機能
U7-137SF	○	○	○
U7-132SF	—	—	—
U7-132hSF	—	—	—

また、共通機能ではない説明箇所は、**U7-137SF専用** と記載しております。

- *DLP™（Digital Light Processing）は、米国テキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
 - *PC/AT、VGA、XGAは米国International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
 - *S-VGAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
 - *Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
 - *TMDSはシリコン・イメージ社の商標です。
 - *Macintoshは米国Apple Computer Inc.の商標です。
 - *Adobe Acrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

注 意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると受信妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

主な特長

■ ワイヤレス・ワイヤードネットワークプレゼンテーション機能、PCレスプレゼンテーション機能を搭載した、高輝度・軽量プロジェクタ

DLP™方式と独自の光学設計の相乗効果で、光の利用効率を向上。カラー表現に必要な3原色（RGB）を1枚のDMD（超精密デジタルデバイス）で再現。これらにより高輝度化と小型化・軽量化を実現しました。また無線LAN技術を採用し、パソコンとRGBケーブル接続せず、ワイヤレスプレゼンテーションが可能。イメージビューワ機能を使用し、CFメモリカードやUSBメモリに保存した画像ファイルやアニメーションを含んだPowerPointファイルを、パソコンを持ち歩かなくてもプレゼンが可能。*1)

*1. 詳しくは取説「イメージビューワ・ネットワーク編」を参照ください。

■ 短焦点ズームレンズの採用

60インチスクリーンへ1.85mの距離から投影可能。狭いスペースでも利用が可能、使用範囲が大きく広がりました。

■ 天井取り付け時でも、そのままランプ交換が可能

ランプ交換時、プロジェクタを天井から取り外すことなく、プロジェクタ上面からランプ交換が可能です。他の一般的なプロジェクタで行われる、天井より一旦取り外してからのランプ交換、投写位置の再調整等の時間と手間が省けます。*2)

*2. 詳しくは67ページ「ランプカートリッジの交換」を参照ください。

■ 鮮明でクリアな画像

DLP™方式を採用したことによりRGBの色ズレがなく、ひとつひとつのドット（点）の隙間が目立たないので、小さな文字や図表などをくっきりと明瞭に表示します。

■ Advanced Color Wheel (ACW) 採用

色再現性がさらに向上しました。独自のACWを採用することで、明るさはそのままに、色再現性がよりいっそう向上。DLP™方式ならではのくっきり画質をさらに進化させました。

■ 2000：1のハイコントラスト比を実現

新世代のDMDデバイスを採用したことにより、驚異の2000：1のハイコントラスト比を実現。黒と白の明るさの差を広げたことにより、スペック上の明るさ以上の鮮明度をご覧ください。

■ DLP Cinema™技術と同じ原理で、動画再生に強みを発揮

映画館での上映時に使用されるDLP Cinema™と同じ素質を持つ、プラスのDLP方式プロジェクタ。応答速度が極めて早いため、スポーツや映画など動きのある画像も流れにくく、スムーズな映像で楽しむことができます。

■ セキュリティロック機能搭載

プロジェクタ立上げ時にパスワードの入力を求めるように設定できます。正しいパスワードを入力しなければ、電源のON/OFF以外の操作ができませんので、いたずらや無断使用の防止に効果的な機能です。

■ プレゼンテーションに威力を発揮するさまざまな機能を搭載

セッティング時の画像の歪みを補正するデジタルキーストーン補正機能をはじめ、PCの信号を自動判別するオートアジャストメント機能などさまざまなイーザーセッティング機能を搭載。さらにプレゼンテーションをサポートするプレゼンタイマーを内蔵しています。

■ DVDなど高画質の映像を再現すると際立つ美しさ

色彩を忠実に再現することで、より自然な映像を表示できます。とくにDVDやデジタルハイビジョン放送をはじめとする高画質の映像ほど、DLP™方式プロジェクタが本来持つ表示能力を引き出します。

■ デジタル／アナログRGB入力に加えRGB出力も可能に

DVI端子の付いたパソコンとプロジェクタをDVIケーブルで接続することで、フルデジタルの画像をお楽しみいただけます。

またRGB出力端子を使い、パソコンのモニターに同じ映像を投映することが可能です。

■ ランプ出力にエコモード切替機能を搭載

ランプエコモードをご利用いただくことで、ランプの寿命を延長し、消費電力も低減します。ご使用の環境に合わせてモードを切り替えていただくことで、ランプコストを節約し省エネやエコロジーにも貢献します。

目次

準備と予備知識

主な特長.....	3
目次.....	4
安全のために必ずお守りください.....	6
ご使用前に.....	6
警告.....	7
注意.....	9
使用上のお願い.....	11
付属品を確認する.....	12
本体各部のなまえ.....	14
盗難防止用ロックについて.....	14
リモコン各部のなまえ.....	16
リモコンを準備する.....	17
電池の入れかた.....	17
リモコンの受光可能範囲.....	17

設置と投映

スクリーンに投映するまでの手順.....	18
設置の目安.....	19
画面サイズと投映距離.....	19
パソコンや映像機器を接続する.....	20
パソコンとの接続.....	20
パソコンがDVI端子の場合.....	20
パソコンがミニD-Sub 15ピン端子の場合.....	21
ノートパソコンの外部出力信号を出力するには.....	22
コンポジット信号との接続.....	23
映像機器が映像端子の場合.....	23
映像機器がS映像端子の場合.....	23
コンポーネント信号との接続.....	24
AUDIO端子との接続.....	25
RGB OUT端子との接続.....	26
電源コードの接続と入/切.....	27
使うとき.....	27
電源を入れたとき [メニュー言語選択] が表示された場合.....	28
終わったとき.....	29
投映画面の調整.....	30
投映画面を調整する.....	30
アジャスタ調整のしかた.....	31

ふだんの操作

ふだんの操作.....	32
入力の選択.....	32
アナログRGBの自動調整自動調整.....	32
動画を静止画にする.....	33
画像と音声を一時消去する.....	33
音量の調整.....	33
映像の拡大と画像移動.....	34
プレゼンテーションタイマーを使う.....	35
レーザーポインタを使う.....	36
リモコンでパソコンのマウス操作をする.....	37
パソコンでプロジェクタを制御する.....	38
プロジェクタをセキュリティで保護する.....	39
パスワード登録のしかた.....	39
電源を入れたときパスワード表示入力されたとき.....	40
パスワードを解除する/パスワードを変更する.....	40
クイックメニューを使う.....	41

メニュー操作の方法

メニュー操作の方法.....	42
メニュー操作で使うボタンの 名称とはたらき.....	42
メニュー画面の名称とはたらき.....	43
メニュー操作のしかた.....	44
メニュー表示中に他のメニュー名を 選択する場合.....	46
入力選択と調整/設定可能な 項目名の一覧表.....	47

調整と設定

映像.....	49
明るさ/コントラスト/カラー/ 色相/シャープネス.....	49
クロック周波数/位相/水平位置/垂直位置.....	49
クロック周波数.....	49
位相.....	50
水平位置.....	50
垂直位置.....	50
リセット.....	50

カラー	51
クイックカラー調整	51
ガンマ	51
色温度	52
ホワイト	52
カラースペース	52
ホワイトバランス	53
画面	54
アスペクト	54
フィルタ	54
上下反転／左右反転	55
キーストーン	55
キーストーンセーブ	55
設定	56
オートソース	56
省電力	56
メニュー位置	56
ランプモード	57
入力設定	57
プレゼンタイマー	58
オプション	59
言語	59
表示切替	59
バックグラウンド	59
起動画面	60
セキュリティロック	60
ネットワークパスワード	60
情報	61
ステータス	61
初期化	61
ランプ使用時間リセット	61
周波数／解像度	62
ランプ使用時間	62

その他

インジケータが点灯／点滅しているときは	63
故障かな？と思ったら	64
お手入れについて	66
ランプカートリッジの交換	67
仕様	70
対応周波数一覧表	71
外観図	72
アフターサービス	73

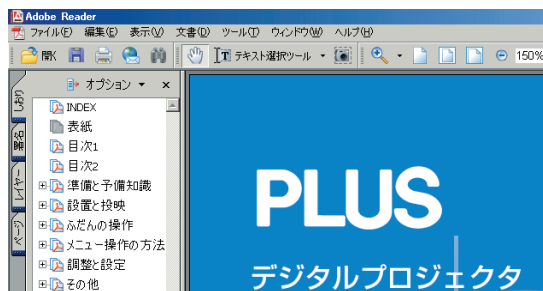
取扱説明書のリンクについて

この取扱説明書はアドビシステムズ社のAdobe Acrobatで作成されています。

操作のしかたは“Adobe Readerヘルプ”をご覧ください。

プロジェクトの取扱説明書は次のようにページの移動ができます。

- しおりにはリンクが張られています。しおり欄の目的の見出し名をクリックするとそのページに飛びます。



- 取扱説明書の目次ページと、本文中の➡00ページと青色になっている参照ページにはリンクが張られています。手アイコンを参照ページ上に合わせるとマウスアイコンになります。マウスをクリックするとそのページにジャンプします。

ウィンドウの下部にあるステータスバーの🏠ボタンをクリックするとジャンプ元（1つ前の状態）に戻ります。

安全のために必ずお守りください


《ご使用の前に》


絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。

 **注意** この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の意味



この記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。
図の中に具体的な注意内容（右図の場合は感電注意）が描かれています。



この記号はしてはいけないことを表しています。
図の中に具体的な禁止内容（右図の場合は分解禁止）が描かれています。



この記号はしなければならないことを表しています。
図の中に具体的な指示内容（右図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



《必ずお守りください》

警告

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、販売店または弊社「カスタマーセンター」に交換をご依頼ください。



禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があります。キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の調整や設定、点検、修理は販売店または弊社「カスタマーセンター」にご依頼ください。



分解禁止

ランプ交換はランプが十分に冷えてから行う

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となります。ランプ交換の際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、60分以上たって十分にランプが冷えてから行ってください。



高温注意

レンズをのぞかない

投映中にプロジェクタのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。



禁止

次のようなところでは使用しない

火災・感電の原因となります。

- 本機を暖房の近くや振動の多い所。
- 湿気やほこりの多い場所。
- 油煙や湿気の当たるような場所。(調理台や加湿器のそばなど)



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

《必ずお守りください》

警告



表示以外の電圧で使用しない

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。



水場や水にぬれるような所には置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。



故障したままの使用はしない

万一、煙が出ている・変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

すぐに電源を切り、そのあと必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



取扱説明書に従って正しく使用してもなお画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



排気孔、吸気孔をふさがない

排気孔、吸気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。

風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 周囲の壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。



お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となります。



プロジェクトの上に水が入った物を置かない

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

《必ずお守りください》

警告



電源プラグ
をコンセントから抜く

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く
安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。
感電の原因になります。



電源プラグの刃および刃の付近の付着物はとる

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



収納ケースには本機および付属品以外は入れない

内部にクリップやホッチキスの針等の金属片や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

注意



禁止



電源プラグを
コンセントから抜く

電源コード・電源プラグについて

- めくれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブル、転倒防止をはずしたことを確認の上、行ってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。
- 電源コード、AC変換アダプタは本製品以外の製品には転用しないでください。



部品割れは
修理依頼を

部品が割れた際は修理依頼を

本機内部にはレンズやフィルタ、ランプなどのガラス部品を多数使用しています。万一、部品が割れた際には、破片でけがなどをしないように取り扱いに注意し、販売店または弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。

注意



内部の掃除は
販売店で

点検・工事について

1年に一度くらいは内部の掃除を販売店または弊社「カスタマーセンター」などにご相談ください。

本機の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用につきましては販売店または弊社「カスタマーセンター」などにご相談ください。

電池の取り扱い

電池の取り扱いには注意してください。火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池をショート、分解、火に入れたりしない。
- 指定以外の電池は使用しない。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
- 電池を入れたまま長期間放置しない。
- ボタン電池は幼児の手の届かないところに保管する。
- 電池をリモコンに入れる場合、極性を（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、機器の表示通りに入れる。
- 使いきった電池はすぐに機器から取り出す。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。
- 電池を廃棄するときは、その地域の回収方法に従ってください。

投映中にレンズキャップはしない

- 投映中はレンズをふさがないでください。ふたの部分が高温になり溶けることがあります。
- 投映中にレンズの前に水槽等、レンズ効果をもたらすものを置かないでください。火災の原因となることがあります。



高温注意

高温注意

投映中及び投映終了直後は排気孔付近が高温になっており、手を近づけるとやけどの原因となることがあります。

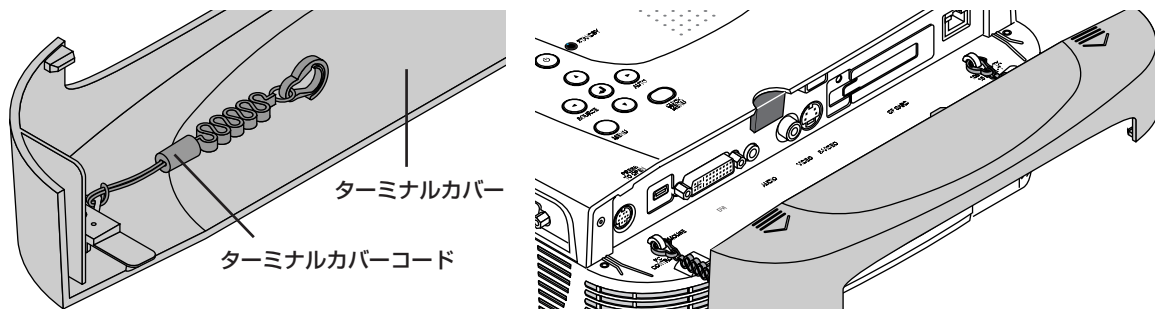
投映中及び投映終了直後は排気孔付近に触れずに温度が下がるまでお待ちください。

《必ずお守りください》

使用上のお願い

性能確保のため、次の点にご留意ください。

- 1.天吊り時、ターミナルカバーの落下防止のため、図のようにターミナルカバーと本体を付属のターミナルカバーコードで止めてください。



- 2.ご使用前にはレンズキャップを必ずはずしてください。

レンズキャップを装着したままの使用はさけて下さい。

- 3.投映レンズ面は素手でさわらないでください。

投映レンズ面に指紋や汚れがつくと、十分な画質が得られませんので、レンズ面には手をふれないでください。

- 4.スクリーンについて

ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

- 5.リモコンについて

本機の操作の一部はリモコンで行います。イメージビューワ・ネットワーク機能の一部は本体ボタンでは使用できません。リモコンより操作してください。
リモコンをなくさないようにご注意ください。

- 6.振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

- 7.高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。

- 8.DVI／ミニD-Sub15ピン変換アダプタの収納について

DVI／ミニD-Sub15ピン変換アダプタとRGBケーブルを接続したままでの収納は、当該部分にストレスが加わり、断線の原因になる可能性が高くなります。必ず、接続を外し、個々の状態で収納ください。

- 9.廃棄について

本体廃棄の際は、お買いあげの販売店または、自治体にお問い合わせください。

付属品を確認する

本体と付属品を箱から取り出して、次のものが同梱されていることをご確認ください。

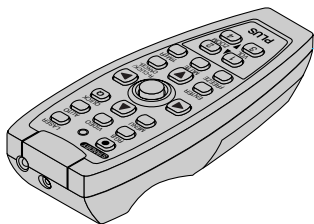
レーザーポインタ付ワイヤレスリモコン

[単四電池2個付] (1個)

プロジェクタを操作します。

ご使用の際は、付属の乾電池をリモコンに入れてください。

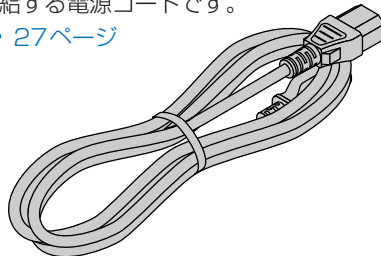
→ 17ページ



電源コード [1.8m] (1本)

電源を供給する電源コードです。

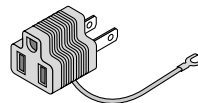
接続は → 27ページ



AC変換アダプタ [3P→2Pアース付き] (1個)

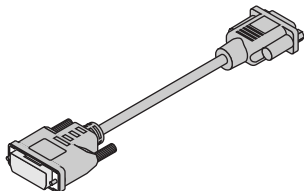
2極のアース付き電源コンセントとの接続に使用します。

接続は → 27ページ



DVI/ミニD-Sub15ピン変換アダプタ [18cm] (1本)

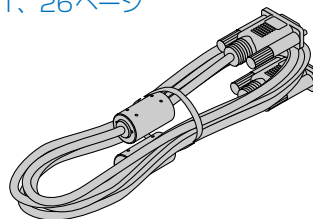
パソコンのモニタ端子がミニD-Sub15ピンの場合に使用します。接続は → 21、24ページ



RGB信号ケーブル [ミニD-Sub15ピン、2m] (1本)

パソコンとの接続に使用します。

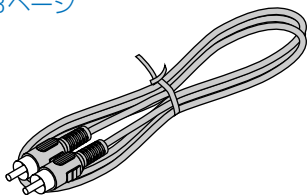
接続は → 21、26ページ



ビデオケーブル [RCAピン、2m] (1本)

映像端子の映像機器との接続に使用します。

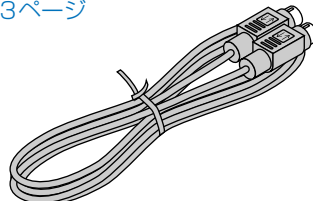
接続は → 23ページ



S-ビデオケーブル [ミニDIN4ピン、2m] (1本)

S映像端子の映像機器との接続に使用します。

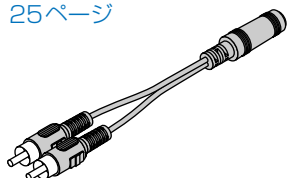
接続は → 23ページ



オーディオ変換アダプタ

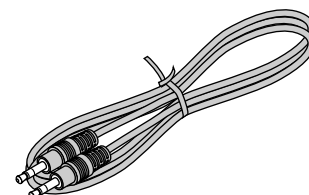
[ミニプラグ/RCAピン、15cm] (1本)

接続機器の音声端子がフォノピンタイプるとき使います。接続は → 25ページ



オーディオケーブル [ミニプラグ、2m] (1本)

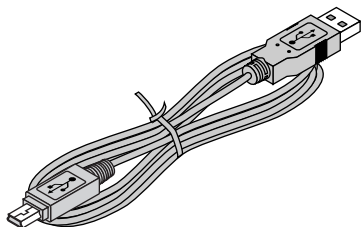
接続機器の音声端子がミニプラグのとき使います。接続は → 25ページ



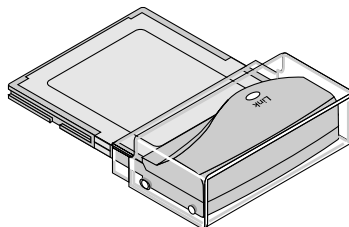
付属品を確認する

USBケーブル [タイプA、2m] (1本)

プロジェクタのリモコンでパソコンのマウス操作を行うときに使います。接続は➔ [37ページ](#)

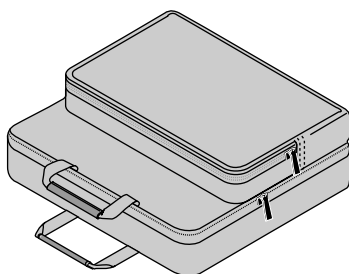


無線LANカード (1枚) U7-137SF専用

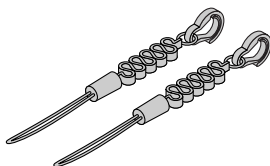


収納ケース (1個)

プロジェクタ本体や付属品を入れるケースです。移動や保管時にご使用ください。



ターミナルカバーコード (2本)



取扱説明書 (CD-ROM版) (1枚)

取扱説明書 (簡易版) (1冊)

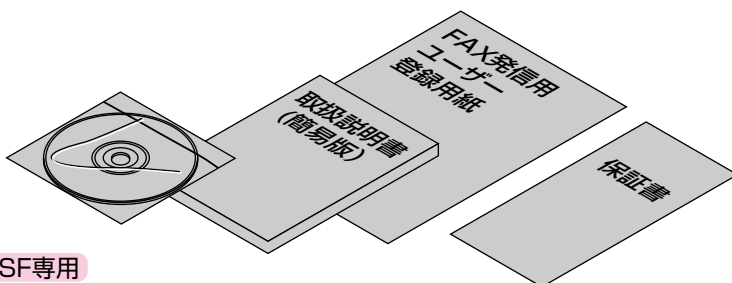
保証書 (1枚)

FAX発信用ユーザー登録用紙 (1枚)

セキュリティシート (1枚)

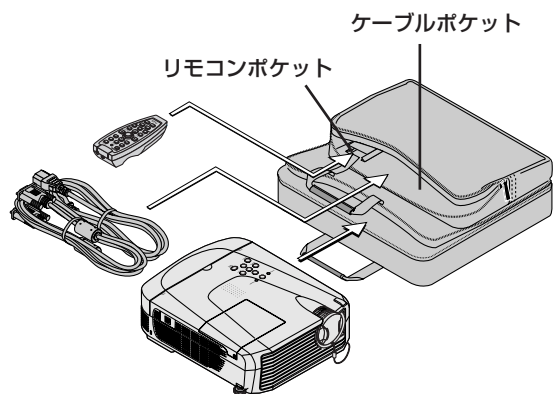
セキュリティラベル (1枚)

ワイヤレス注意ラベル (1枚) U7-137SF専用

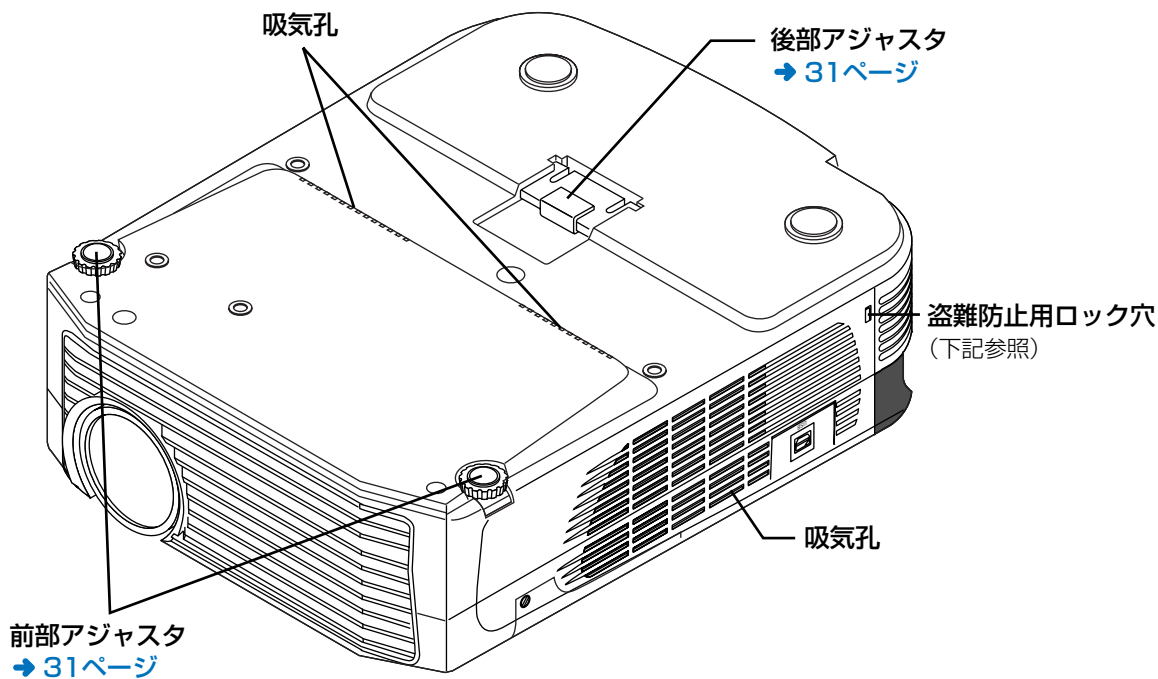
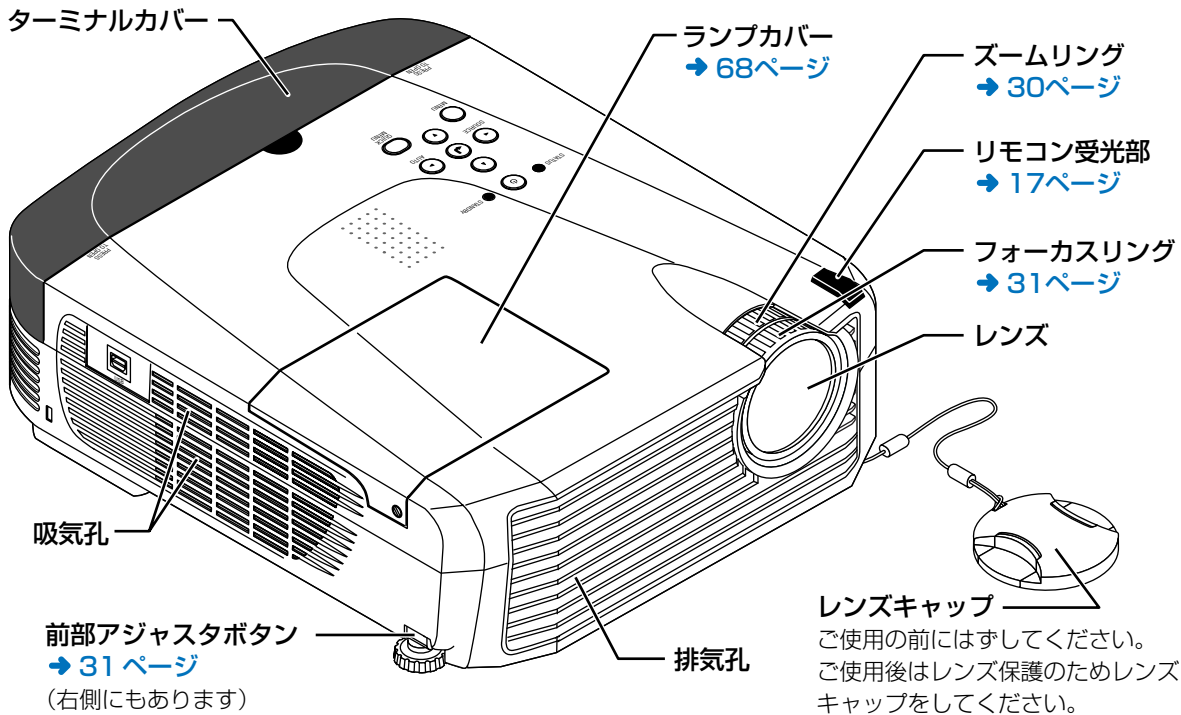


入れ方

本体のレンズキャップを閉めてからケースに入れてください。その後、マジックテープでとめます。リモコンはリモコンポケット、ケーブルはケーブルポケットに入れてください。



本体各部のなまえ

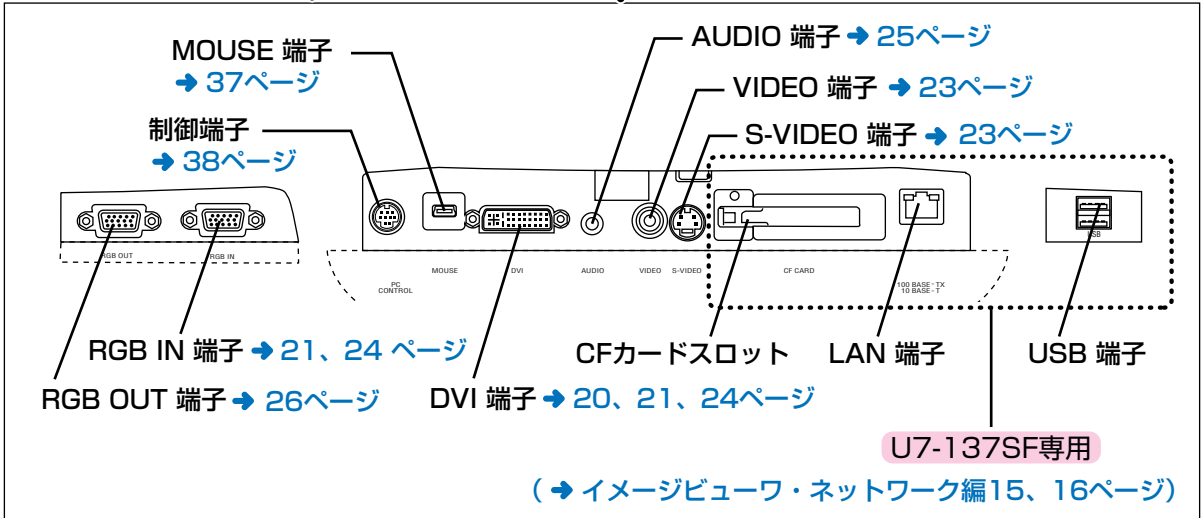
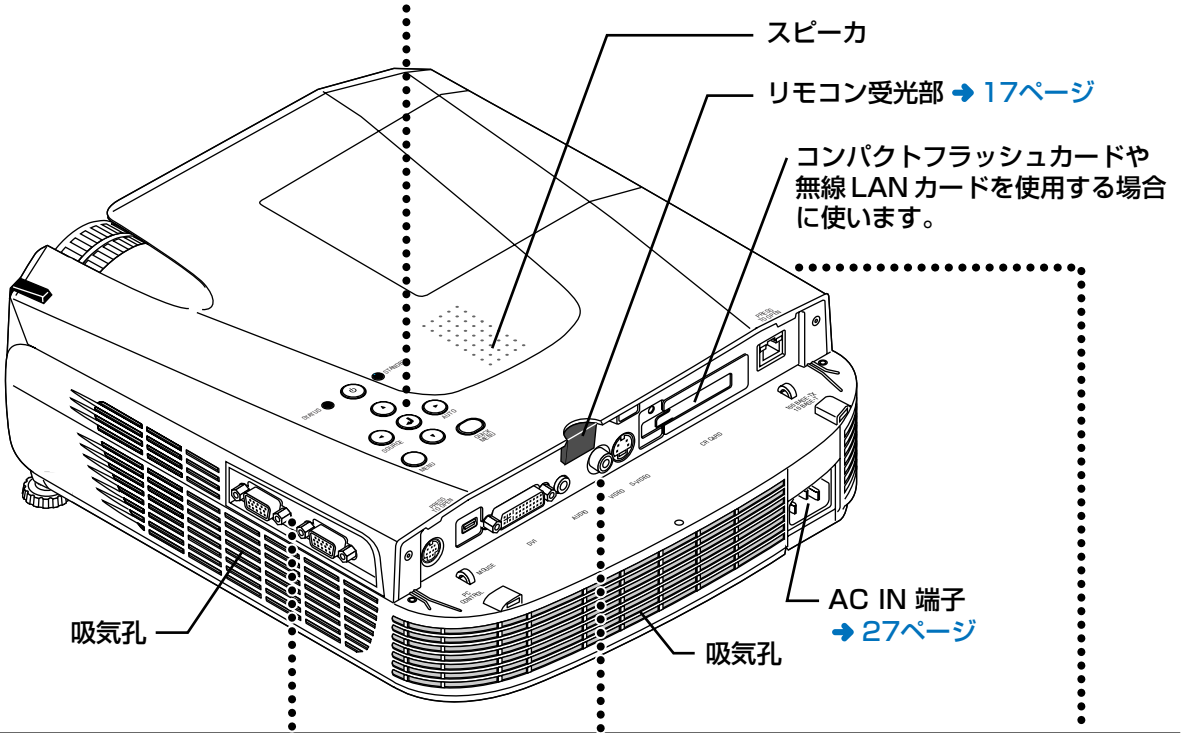
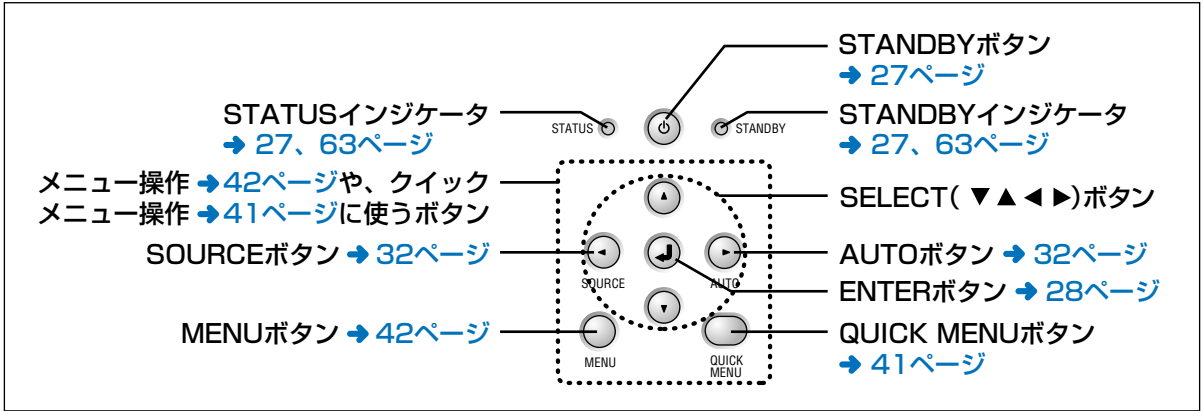


盗難防止用ロックについて



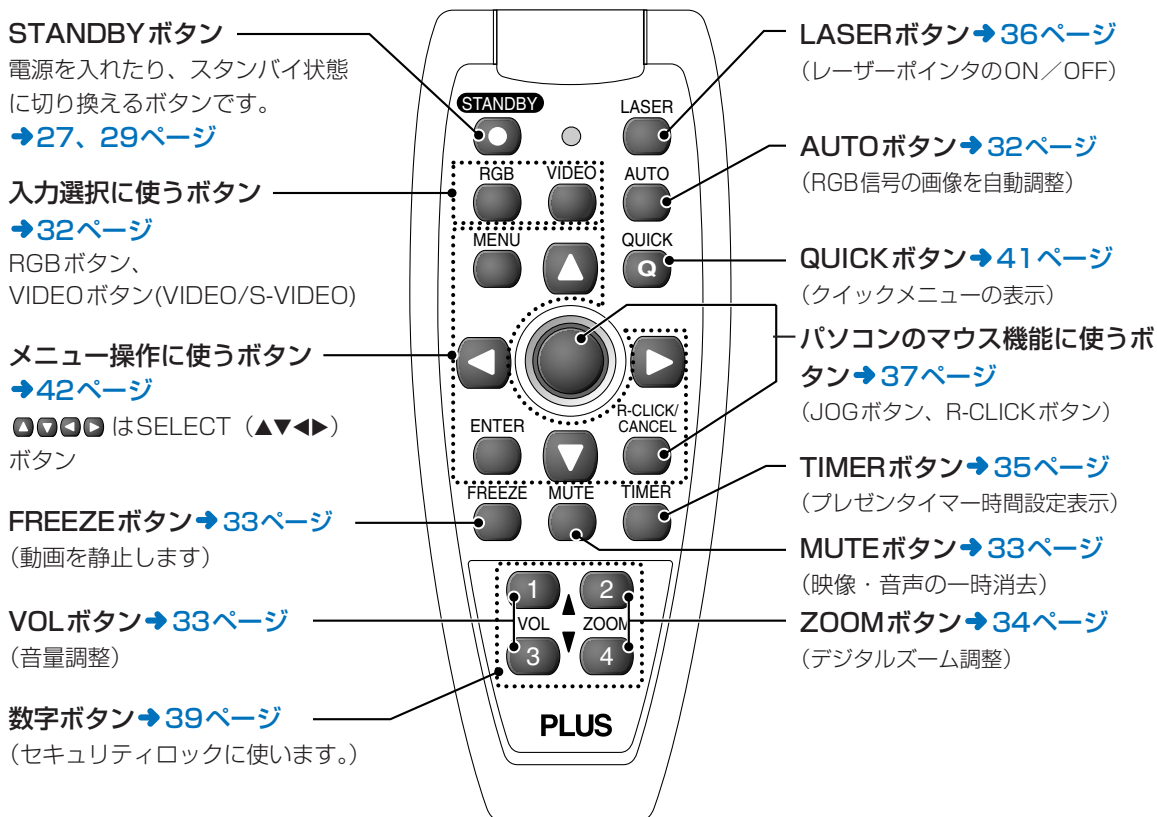
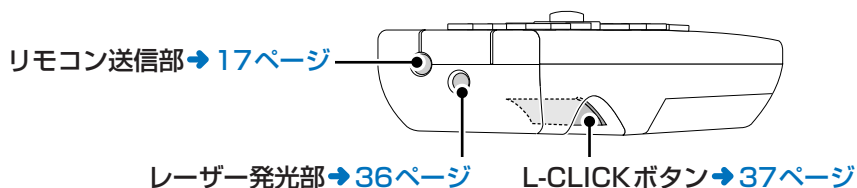
盗難防止用ロックは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。この製品についてのお問い合わせ先は、右記のとおりです。

日本ボラデジタル株式会社
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-5-2
はごろもビル5F
Tel : 03-3537-1070
Fax : 03-3537-1071



リモコン各部のなまえ

U7-132SF/U7-132hSF/U7-137SFに付属のリモコン各部のなまえ



お知らせ

- リモコンの各ボタンは操作時、約30秒押し続けると一旦送信を中断します。再度送信する場合は、もう一度ボタンを押して下さい。
また、JOGボタンで再度送信する場合は他のいずれかのボタンを押した後、JOGボタンを押して下さい。

お願い

リモコンの取り扱いについて

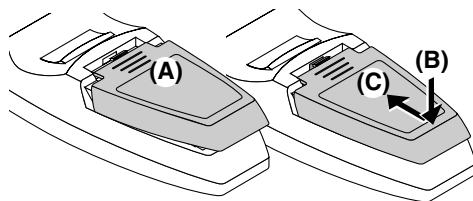
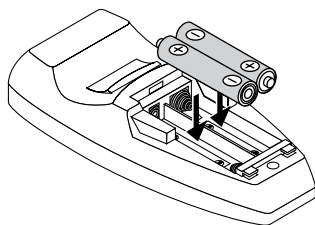
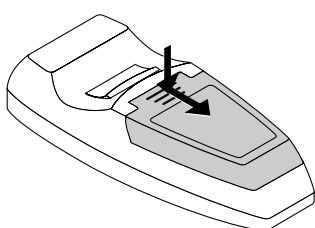
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一、ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、電池を取り出してください。
- リモコンしかできない操作（メニュー操作）がありますので、取り扱いには注意してください。

リモコンを準備する

電池の入れかた

はじめてリモコンを使うときは、付属の電池を入れてください。

- 1 リモコン裏面の電池ケースのふたを押しながら引いて外します。
- 2 ケース内部の表示通りに+、-の向きを合わせて入れます。
- 3 (A)前を少しあげてふたを閉め、(B)後ろをすき間なく押した状態で、(C)前方へふたを押し込みます。



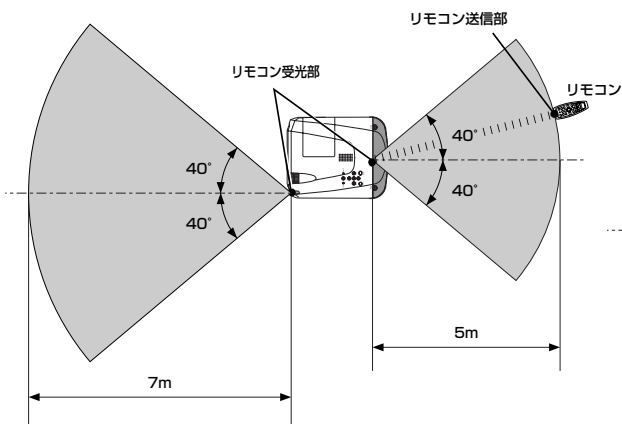
お願い

- 電池を交換するときは2本とも同じ種類の単四乾電池をお求めください。
- 使用済み電池は、地域の廃棄ルールに従って処分してください。

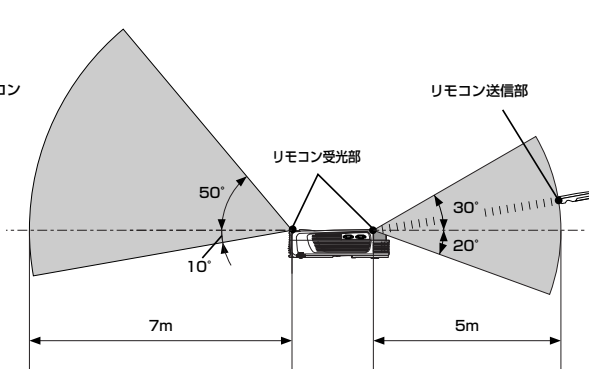
リモコンの受光可能範囲

リモコンのリモコン送信部を本体の前または後ろのリモコン受光部に向けて操作してください。
おおよそ下図の範囲内で受信できます。

【上から見た図】



【横から見た図】



お知らせ

- 本体のリモコン受光部やリモコンのリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- 電池が消耗していると動作しません。

スクリーンに投映するまでの手順

設置調整は次の順序で行います。

1 位置決めをする

スクリーンおよびプロジェクタの設置場所を決めます。

→19ページ「設置の目安」

2 パソコンや映像機器と接続をする

お手持ちの機器と接続します。

パソコンのDVI端子、RGB端子と接続する場合→20ページ「パソコンとの接続」

映像機器の映像端子、S映像端子と接続する場合→23ページ「コンポジット信号との接続」

映像機器のYCbCr端子、YPbPr端子と接続する場合→24ページ「コンポーネント信号との接続」

音声を本機内蔵スピーカから出す場合→25ページ「AUDIO端子との接続」

アナログRGB入力信号をモニターする場合→26ページ「RGB OUT端子との接続」

3 レンズキャップをはずす

4 電源コードを接続し、電源を入れる

→27ページ「使うとき」

→29ページ「終わったとき」

5 メニュー表示などの言語を選択をする（ご購入後はじめて電源を入れたときのみ）

→28ページ「電源を入れたとき [メニュー言語選択] が表示された場合」

6 パソコンや映像機器の電源を入れる

7 投映画面をスクリーンに正しく合わせる

→30ページ「投映画面の調整」

8 入力機器を選択する→32ページ「入力の選択」

9 画像や映像を調整する

必要に応じて最適な状態に調整してください。

調整項目は目次をご覧ください。

DLPプロジェクタについて

品質には万全を期しておりますが、DLP方式のプロジェクタにおいては、ごくまれに画素の中に黒点もしくは輝点が存在することがあります。あらかじめご了承ください。

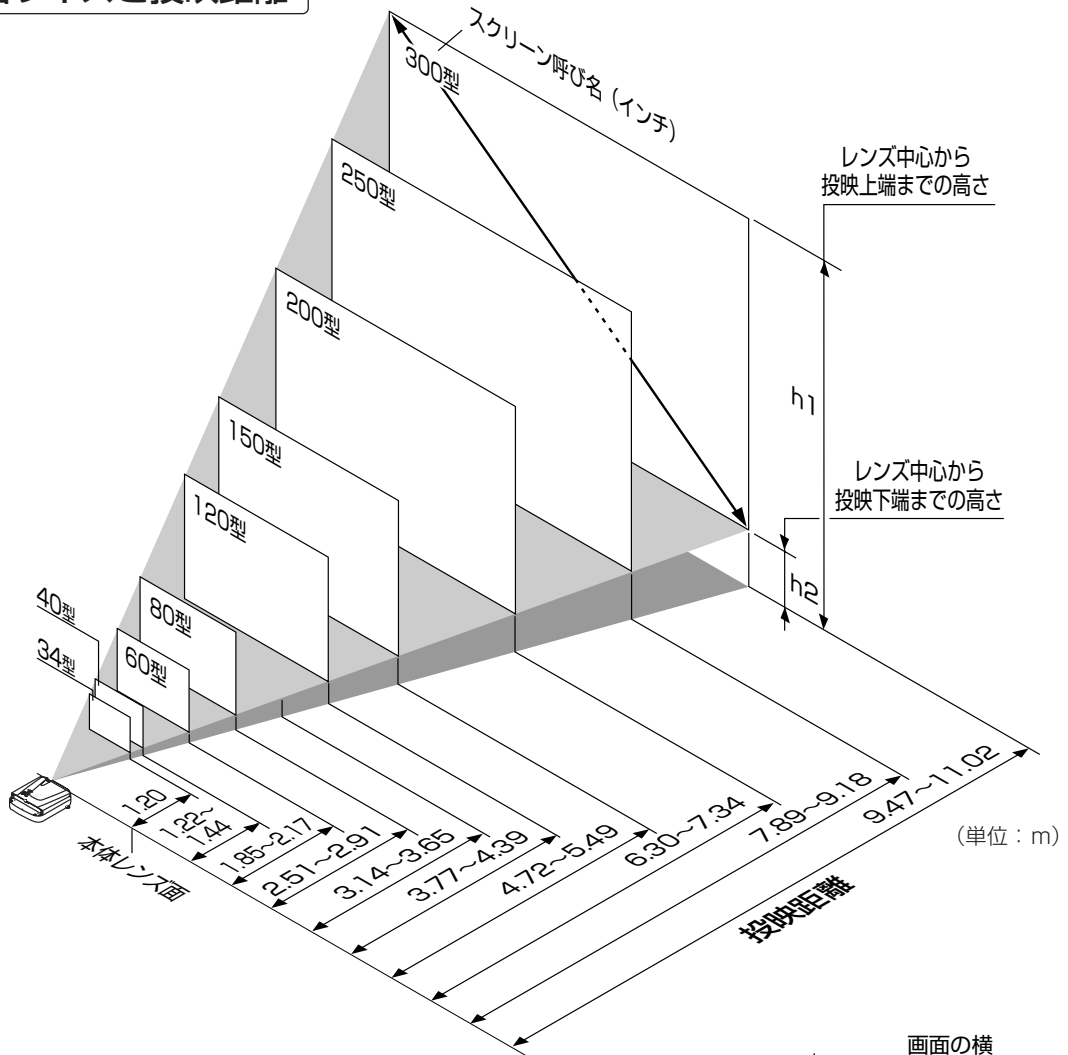
お知らせ

- スクリーンは別途お買い求めください。
- DVI端子のパソコンと接続するには別売のDVI-Dケーブル（注文コード 28-697）が必要です。
- DVDプレーヤなどYCbCr端子の機器と接続するには別売のコンポーネントケーブル（注文コード 28-690）が必要です。
- HD映像機器などYPbPr端子の機器と接続するには別売のコンポーネントケーブル（注文コード 28-690）が必要です。

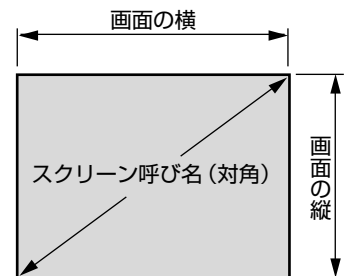
設置の目安

- この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、またどのくらいのスクリーンを用意すればいいのかわかりたいときの目安にしてください。
- フォーカス (焦点) の合う投射距離は本体レンズ面から約 1.20m ~ 11.02m です。この範囲内に設置してください
- プロジェクタを天吊り設置する場合は投射方法を変更してください。→55ページ「上下反転/左右反転」

画面サイズと投射距離



スクリーン呼び名 (インチ)	画面サイズ 横×縦 (m)	投射距離 (m) ワイド~テレ	高さh1 (m)	高さh2 (m)
34型	0.69×0.52	— ~ 1.20	0.48	0.07
40型	0.81×0.61	1.22 ~ 1.44	0.72	0.11
60型	1.21×0.91	1.85 ~ 2.17	1.07	0.16
80型	1.62×1.21	2.51 ~ 2.91	1.43	0.22
100型	2.03×1.52	3.14 ~ 3.65	1.79	0.27
120型	2.43×1.82	3.77 ~ 4.39	2.14	0.32
150型	3.04×2.28	4.72 ~ 5.49	2.68	0.40
200型	4.06×3.04	6.30 ~ 7.34	3.58	0.54
250型	5.08×3.81	7.89 ~ 9.18	4.48	0.67
300型	6.09×4.57	9.47 ~ 11.02	5.38	0.81



- 設計値のため、±5%の誤差があります。
- この表はレンズ先端およびレンズ中心を基準とし、また、本体が水平の状態（前後のアジャスタを縮めた状態）で表しています。

パソコンや映像機器を接続する

- パソコンを接続すると会議や講義など大画面ディスプレイとして作成データを映すことができます。また、DVDプレーヤなどの映像機器を接続し、さらにAVアンプやスピーカシステムを組み合わせると迫力あるホームシアターが楽しめます。

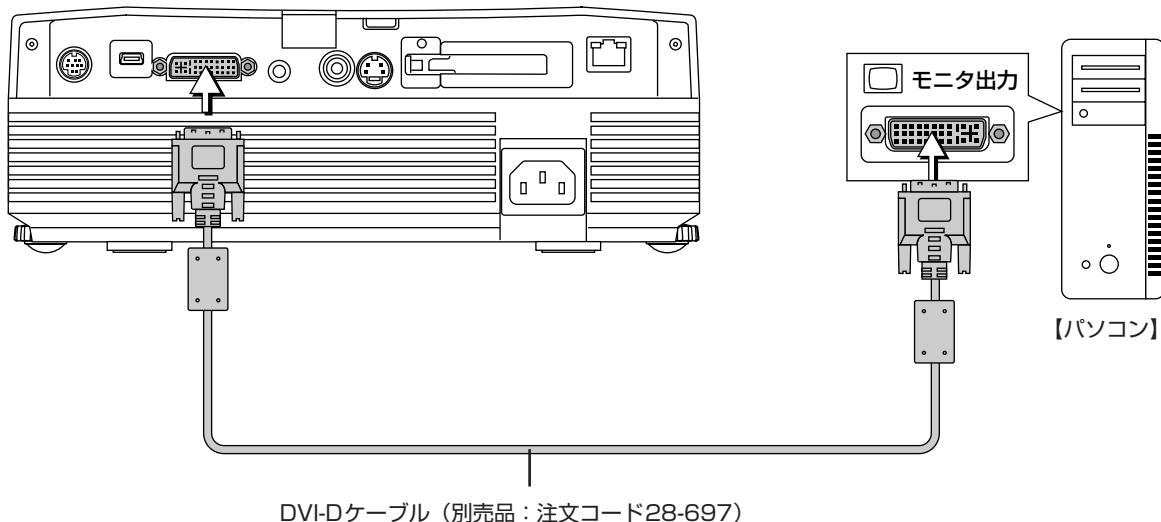
パソコンとの接続

パソコンとの接続の前にご確認ください。

- 本機の適した解像度は1024×768ドット（XGA）、最大表示可能解像度は1280×1024ドット（S-XGA）です。
パソコン側で表示可能な解像度に変更してください。→71ページの「対応周波数一覧表」でご確認ください。
- パソコンの設定方法はお使いのパソコンによって異なりますので、パソコンの取扱説明書やオンラインヘルプをお読みになるか、パソコンメーカーへお問い合わせください。
- 一部のPowerBook G4等に搭載されているDVI-I端子を持ったパソコンと接続される場合、アナログRGB（ミニD-sub15ピン）に変換して、当該機器と接続した場合、投影が出来ない場合があります。このような場合は、別途DVI-Dケーブルをご購入頂き、DVIでの接続でご使用頂きますよう、お願い申し上げます。
尚、DVIでの接続は、アナログRGBでの接続に比較し、高画質の投影が可能となります。

■ パソコンがDVI端子の場合

- 本機のDVI端子と別売品のDVI-Dケーブルで接続します。
接続するときは端子の向きを合わせて差し込んでください。その後つまみを回して本体の端子に固定します。
- 工場出荷時は“オート”に設定されていますが、映らない場合はメニューの[設定] → [入力設定] → [DVI] で入力設定を“デジタル”に切り換えてください。→57ページ「入力設定」参照

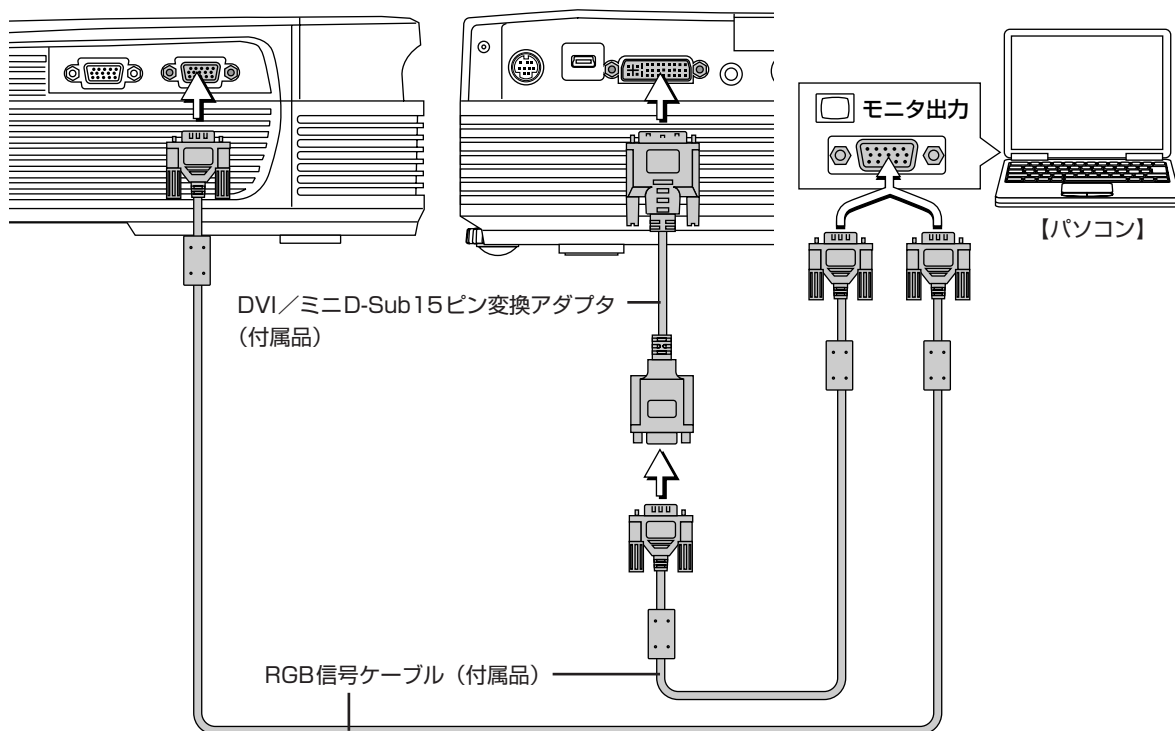


お知らせ

- 本機はデジタルインターフェースに対応した29ピンDVI-I端子です。DVI規格（Digital Visual Interface）のデジタル信号TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）を採用しています。
- HDCPには対応しておりません。

■ パソコンが ミニD-Sub 15ピン端子の場合

- 本機のRGB端子と接続する場合は、付属品のRGB信号ケーブルで接続します。
接続するときは端子の向きを合わせて差し込んでください。その後つまみを回して本体の端子に固定します。
工場出荷時は“オート”に設定されていますが、映らない場合はメニューの [設定] → [入力設定] → [RGB] で入力設定を“RGB”に切り換えてください。
→57ページ「入力設定」参照
- 本機のDVI端子と接続する場合は、付属品のDVI/ミニD-Sub 15ピン変換アダプタを介して接続します。
工場出荷時は“オート”に設定されていますが、映らない場合はメニューの [設定] → [入力設定] → [DVI] で入力設定を“RGB”に切り換えてください。
→57ページ「入力設定」参照



お知らせ

- 接続の際は、本機と接続機器の電源が切れていることをご確認ください。
- ノートパソコンを接続して投映する際、ケーブル接続とノートパソコン起動の手順や、起動後の操作など、必要な知識があります。お手持ちのノートパソコンの取扱説明書やオンラインヘルプをご覧ください。
- パソコンと無線LAN接続する場合、またはビューワーカードを使用する場合は取説「イメージビューワ・ネットワーク編」を参照ください。 **U7-137SF専用**

■ ノートパソコンの外部出力信号を出力するには

ノートパソコンを接続する際、ケーブル接続とノートパソコン起動の手順や、ノートパソコン起動後の操作など、必要な知識があります。お手持ちのノートパソコンの取扱説明書やオンラインヘルプを確認しながら、以下の手順を行ってみてください。

- 1 ノートパソコンから本機に信号がでているか確認する。
ノートパソコンの液晶画面に表示されていても外部出力信号が出力されているとは限りません。
- 2 ノートパソコンから信号がでていないときは、以下の操作をためしてください。
IBM PC/AT、DOS/V機の場合、[Fn] キー+ [F1] ~ [F10] キーのいずれか（下記表参照）を押します。

メーカー名	機種	キー
DELL	全機種	Fn + F8
EPSON	全機種	Fn + F8
FUJITSU	全機種	Fn + F10
iiyama	全機種	Fn + F3
IBM	全機種	Fn + F7
NEC	全機種	Fn + F3
Panasonic	全機種	Fn + F3
SHARP	全機種	Fn + F5
SONY	全機種	Fn + F7
SOTEC	全機種	Fn + F3~F5
TOSHIBA	全機種	Fn + F5
Victor	全機種	Fn + F10

注) 表の内容は2003年12月現在のものです。

お知らせ

- ノートパソコンの液晶画面と本機を同時に表示させた場合、液晶画面は正常に表示されていても投映された映像が正常でない場合があります。その場合はノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにしてお試しください。（前記の2のような操作をしたり、液晶パネルを閉じたりすると、外部出力のみとなる場合があります。）

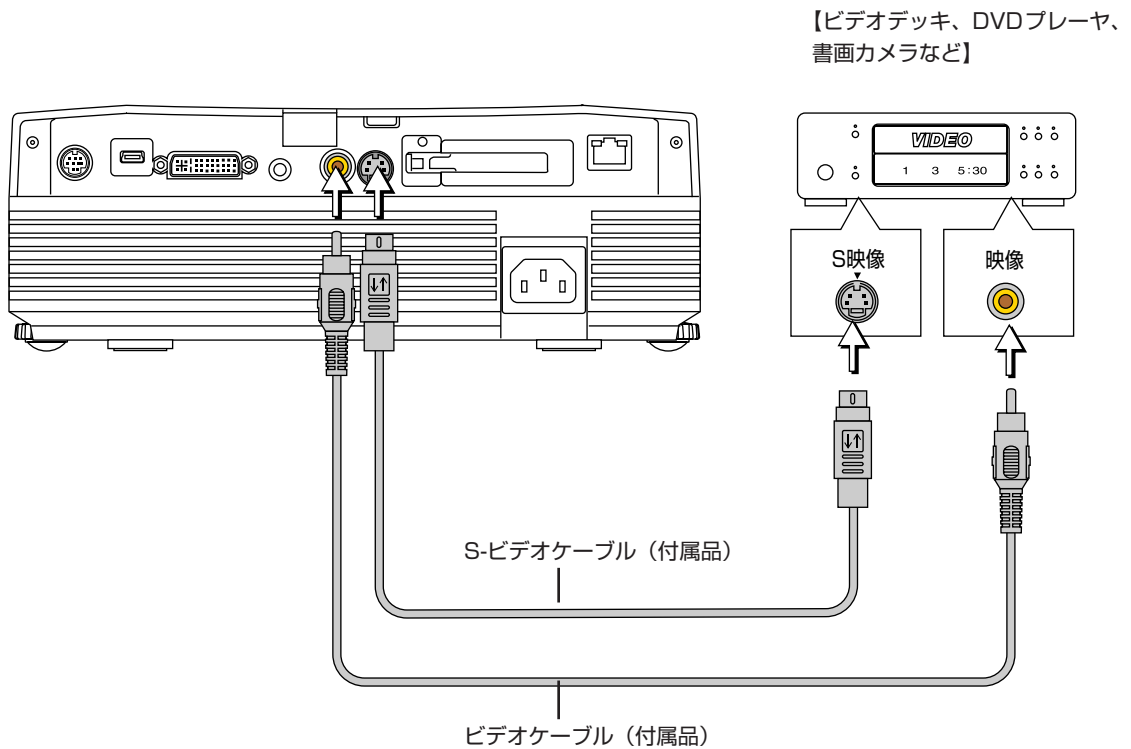
コンポジット信号との接続

■ 映像機器が映像端子の場合

- 本機のVIDEO端子と付属品のビデオケーブルで接続します。
- VIDEO端子の入力設定の工場出荷時は“オート”に設定されていますが、映らない場合はメニューの〔設定〕 → 〔入力設定〕 → 〔Video〕 で入力設定を“NTSC”に切り換えてください。 → 57、58ページ「入力設定」参照

■ 映像機器がS映像端子の場合

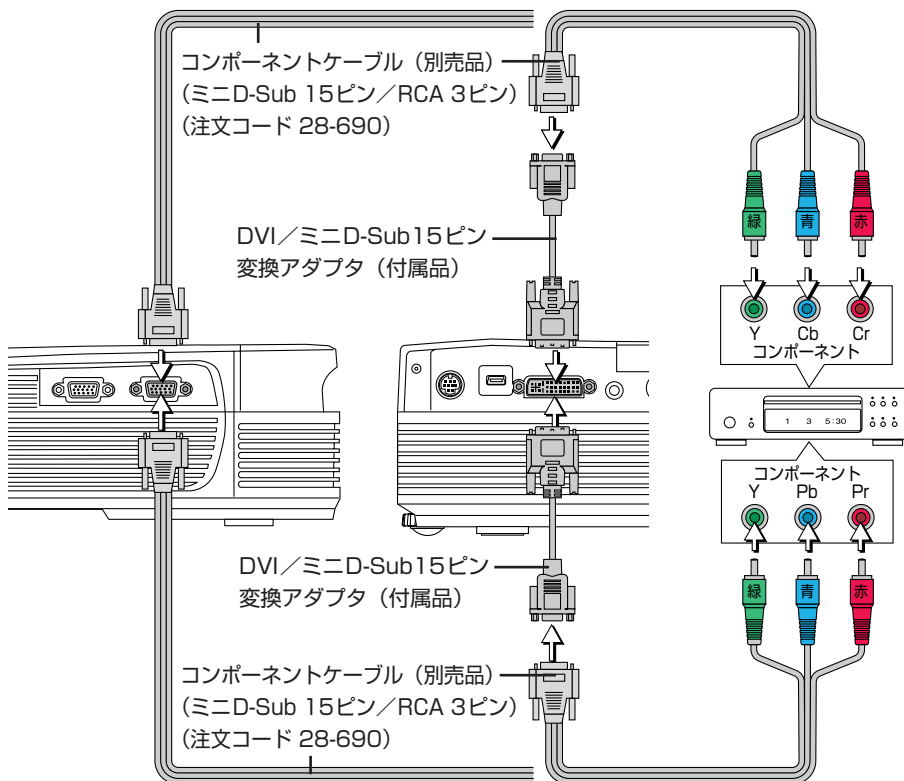
- 本機のS-VIDEO端子と付属品のS-ビデオケーブルで接続します。
- S-VIDEO端子の入力設定の工場出荷時は“オート”に設定されていますが、映らない場合はメニューの〔設定〕 → 〔入力設定〕 → 〔S-Video〕 で入力設定を“NTSC”に切り換えてください。 → 57、58ページ「入力設定」参照



コンポーネント信号との接続

■ 映像機器がYCbCr端子またはYPbPr端子の場合

- 本機のRGB端子と接続する場合は、別売品のコンポーネントケーブルで接続します。
工場出荷時は“オート”に設定されていますが、映らない場合はメニューの [設定] → [入力設定] → [RGB] で入力設定を“コンポーネント”に切り換えてください。
→57ページ「入力設定」参照
- 本機のDVI端子と接続する場合は、付属品のDVI/ミニD-Sub15ピン変換アダプタを介して接続します。
工場出荷時は“オート”に設定されていますが、映らない場合はメニューの [設定] → [入力設定] → [DVI] で入力設定を“コンポーネント”に切り換えてください。
→57ページ「入力設定」参照
- YCbCr入力信号とYPbPr入力信号は本機が自動で判別して投射します。
YCbCr信号またはYPbPr信号を投射していて映像全体の色が緑っぽいなど極端にかたよっている場合は、メニューの [カラー] → [カラースペース] の設定を変更してください。→52ページ「カラースペース」参照
- リモコンでの入力選択はRGBボタンを押してください。



お知らせ

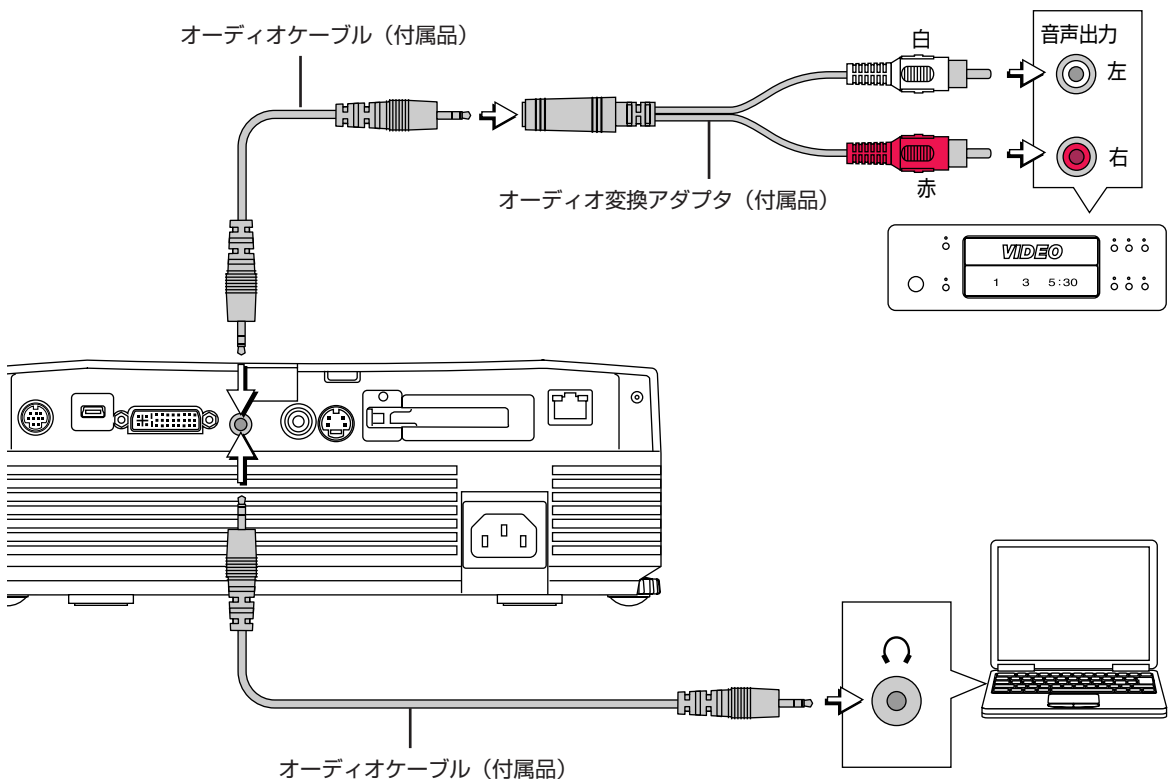
- DVDプレーヤによっては正しく表示できないことがあります。

コンポーネント信号の映像について

- コンポーネントケーブルを用いて480i、576iの信号を入力してビデオ映像をご覧になる際、接続する機器や投射する映像ソースによっては画面が乱れて適切な投射ができない場合があります。この場合は、480pの信号に切り換えるか、Sビデオケーブルによる接続に替えることで乱れない適切な投射が可能です。予めご了承ください。

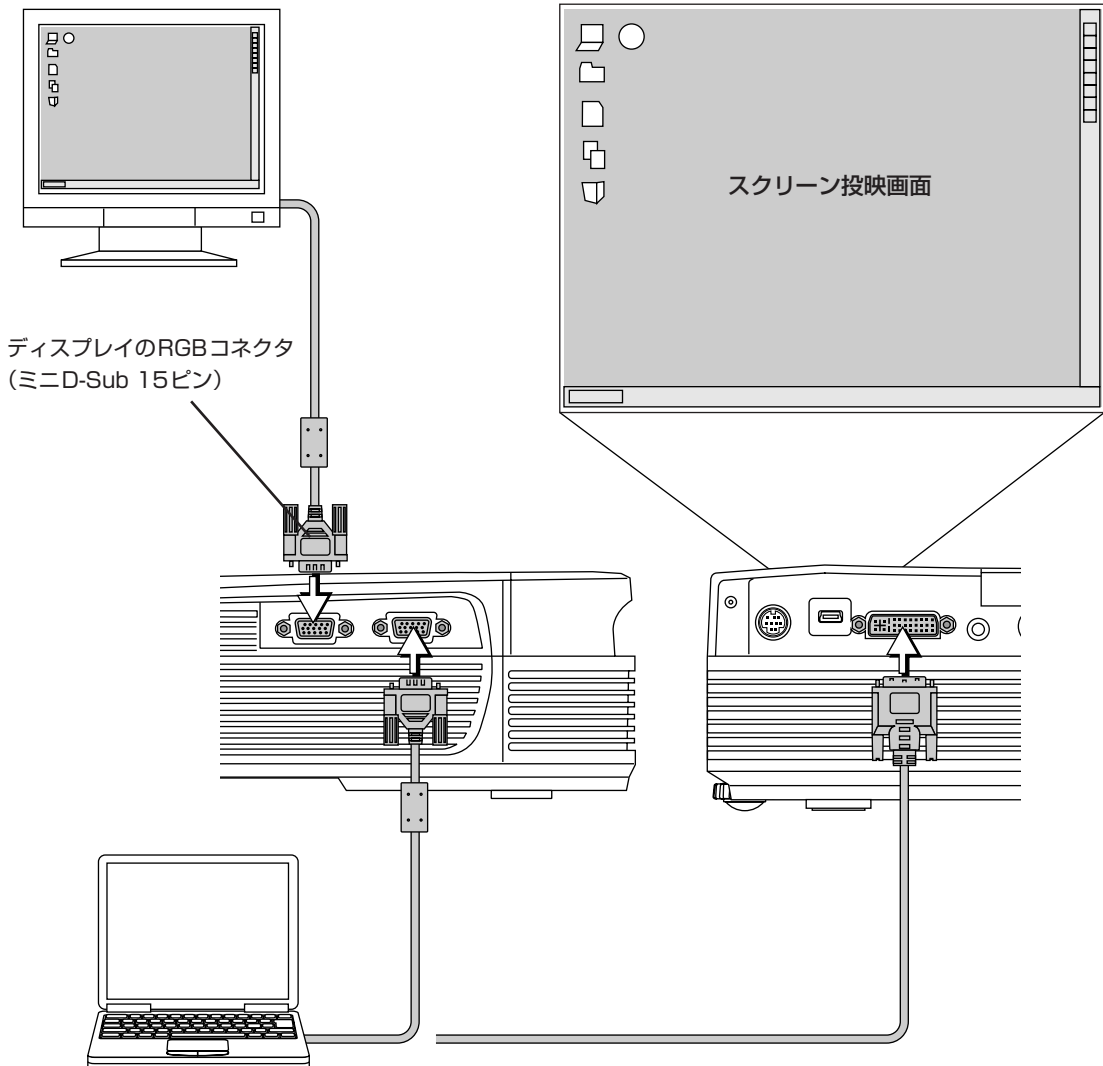
AUDIO 端子との接続

- 本機のAUDIO端子と付属品のオーディオケーブルで接続します。接続機器の音声端子がRCAフォノ端子の場合は、付属品のオーディオ変換アダプタを介して接続します。
- 本機内蔵スピーカはモノラル音声になります。迫力ある音声で楽しむためには、映像機器の音声出力をお手持ちのオーディオシステムと接続してください。
- 内蔵スピーカはAUDIO端子に接続されている機器の音声が出ます。



RGB OUT 端子との接続

- DVI端子またはRGB IN端子に接続しているパソコンの画面が出力されます。
- 入力選択で選択した端子の画像を出力します。
- 入力選択でDVI、RGB以外の入力を選択した場合、出力は切り替わりません。
- 手元のパソコンを操作しながら同じ画面をプロジェクタに投射することができます。このためプロジェクタの映像が見えない位置からでもパソコン操作ができます。



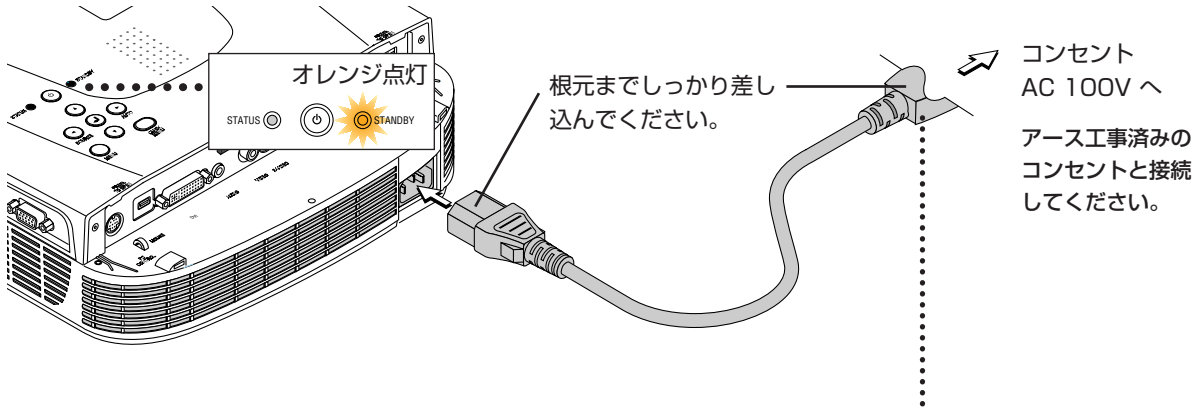
電源コードの接続と入／切

電源コードの接続と電源の入／切には順次があります。

使うとき

1 本体のAC IN端子とコンセント（AC 100V）を付属品の電源コードで接続します。

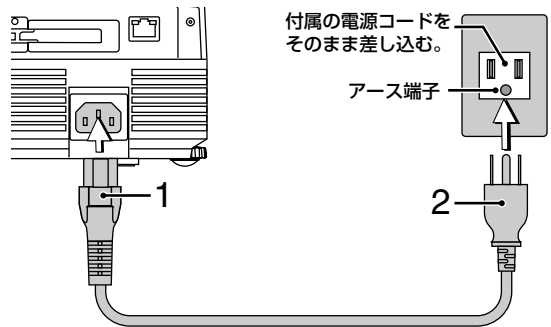
STANDBYインジケータがオレンジ点灯し、スタンバイ状態になります。



■電源コードの差込み方法

コンセントにアース端子の差込み口が付いている場合

1. 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する
2. 電源コードのもう一方をコンセントに差し込む



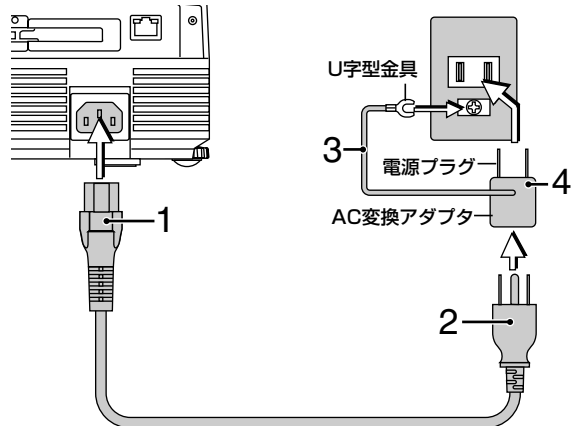
コンセントにアース端子の差込み口が付いていない場合

1. 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する
2. 電源コードのもう一方に付属のAC変換アダプタを取り付ける
3. AC変換アダプタのU字型金具をコンセントのアース端子に接続する

- ご注意**
- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
 - コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください（有料）。

4. AC変換アダプタをコンセントに差し込む

- ご注意**
- 本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。
 - 電源プラグのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取付けないでください。



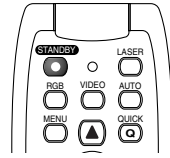
お願い

- 電源プラグをコンセントから抜く場合、容易に手が届くように本機をコンセントの近くに設置してください。
- STANDBYボタンはSTANDBYインジケータがオレンジ点灯してから押してください。
- 付属の電源コード、AC変換アダプタは本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

2 プロジェクタの電源を入れる

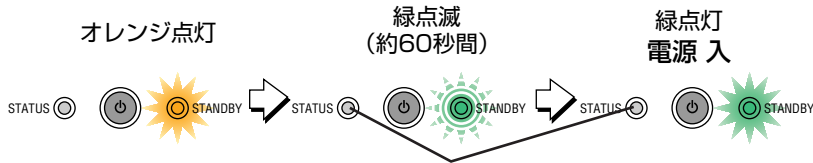
リモコンまたは本体のSTANDBYボタンを押します。

STATUS   STANDBY (本体のボタン)



ご購入後、はじめて電源を入れたときは[メニュー言語選択]が表示されます。選択のしかたは下記をご覧ください。

- 電源を入れるとSTANDBYインジケータが緑の点滅に変わり、約60秒後に点灯します。このとき、STATUSインジケータが緑点灯した場合は [ランプモード] が“エコ”に設定されています。選択のしかたは [→57ページ](#)

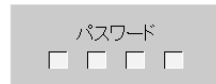


エコモード時はこのランプも緑点灯します。

- 電源が入らないときは [→63ページ](#)の「インジケータが点灯/点滅しているときは」をご覧ください。

「パスワード」入力画面を表示した場合 [→40ページ](#)

このプロジェクタはパスワードが設定されています。パスワードを入力しないと使用できません。



電源を切るには [→29ページ](#)

これでプロジェクタが投映できる状態になりました。

3 接続機器の電源を入れる

■ 電源を入れたとき [メニュー言語選択] が表示された場合

ご購入後、はじめて電源を入れたときは [メニュー言語選択] が表示されます。以下の手順に従って、プロジェクタの表示言語を選択してください。

映像がぼやけている場合はフォーカスリングを左または右に回して焦点を合わせてください。 [→31ページ](#)参照

Menu Language Select	
Please select a menu language	English
Wählen Sie bitte die Menü Sprache aus.	Deutsch
S'il vous plaît choisir la langue de menu.	Français
Per favore di scegliere la lingua di menu.	Italiano
Escoja por favor el idioma de menú.	Español
Välj meny språken.	Svenska
메뉴언어를 선택하십시오	한국어
请选择项目单语言中文	中文
メニュー言語を選択して下さい。	日本語

カーソル  [メニュー言語を選択して下さい。](#)
 Select "▲", "▼", "▶", "◀" & "ENTER"

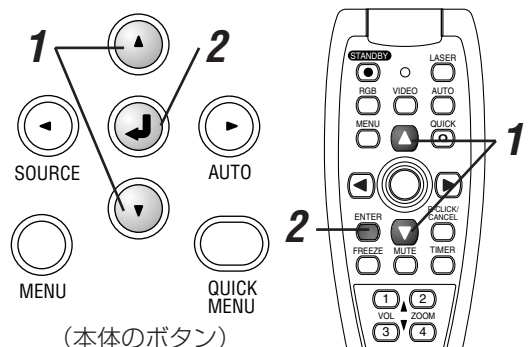
1 リモコンまたは本体のSELECT (▲▼) ボタンを押して紺色のカーソルを [日本語] に合わせます。

2 ENTERボタンを押して決定します。言語が決定されて [メニュー言語選択] が閉じます。

これで、表示言語の選択が終わりました。

【ご注意】

次からは [メニュー言語選択] の表示は出ません。変更が必要な場合は [→59ページ](#) 「言語」 参照



(本体のボタン)

終わったとき

1 接続機器の電源を切る

2 プロジェクタの電源を切る

リモコンまたは本体のSTANDBYボタンを押します。

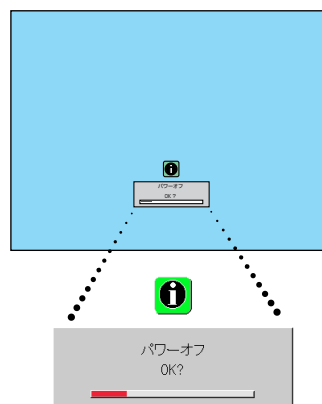
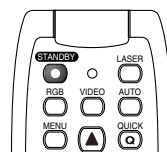
STATUS    STANDBY (本体のボタン)

[パワーオフ] 表示が出ます。
レベルゲージが最大になると (約5秒) 投映画面が消え、
電源を切る動作に入ります。

お知らせ

- STANDBYボタン以外のボタンを押すと取り消しができません。
- もう一度STANDBYボタンを押すと、すぐに電源が切れます。

STANDBYインジケータがオレンジの点滅に変わり、約90秒後にオレンジ点灯に (スタンバイ状態) になります。



3 電源コードを抜く

STANDBYインジケータがオレンジ色に点灯していることを確認してから抜いてください。

電源コードを抜くと、STANDBYインジケータが消灯します。

ご注意

STANDBYインジケータがオレンジ点滅中は、電源コードを抜かないでください。
ランプの寿命を短くしたり、機器が故障するおそれがあります。

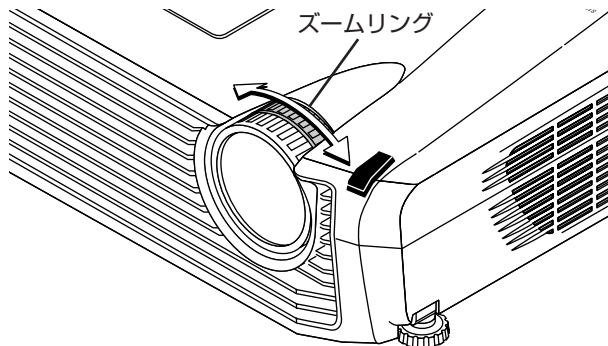
投映画面の調整

接続機器の電源を入れ、映像信号を本機へ入力した状態で行ってください。

投映画面を調整する

1 ズームリングを回して画面の大きさを調整する。

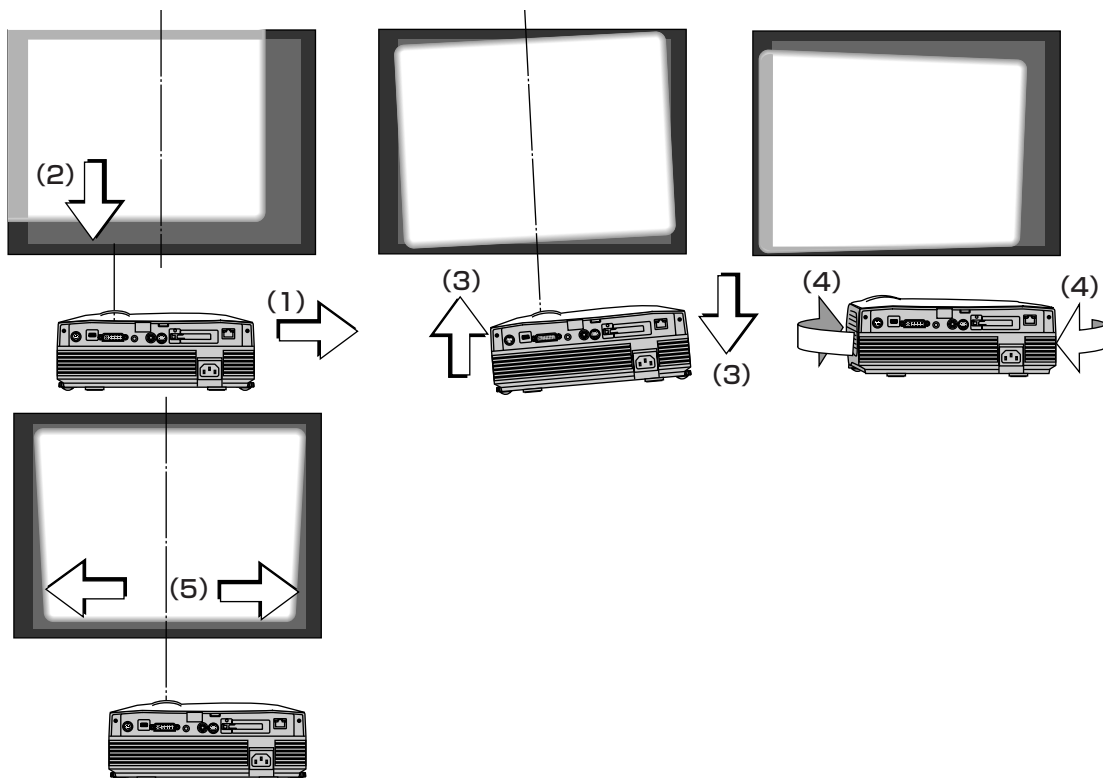
お好みの画面サイズになるよう調整します。調整範囲外の場合は、本体を後ろまたは前に移動します。



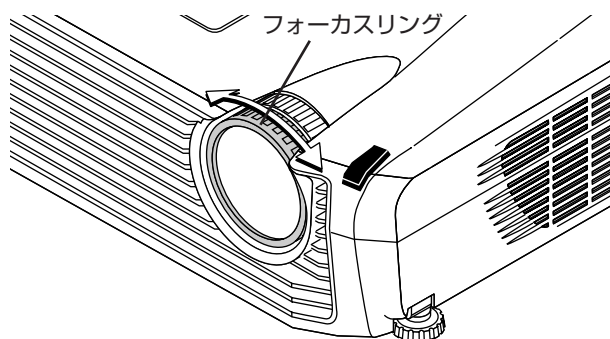
2 スクリーンに投映画面を合わせます。

スクリーンが水平・垂直に設置されていることをご確認ください。

- (1) 左右方向にずれている場合は本体を横に移動します。(スクリーンの中心と本体レンズの中心を合わせます。)
- (2) 上下方向にずれている場合はアジャスタで上下方向を調整します。→31ページ「アジャスタ調整のしかた」
- (3) 傾いている場合は右または左の前部アジャスタを回して調整します。→31ページ「アジャスタ調整のしかた」
- (4) 図の様な投映画面は本体がスクリーンに対して横を向いていますので真っすぐ向けます。
- (5) 台形状に歪んでいる場合はリモコンまたはメニュー操作で調整します。→55ページ「キーストーン」



3 フォーカスリングを回して画面のピントを合わせる



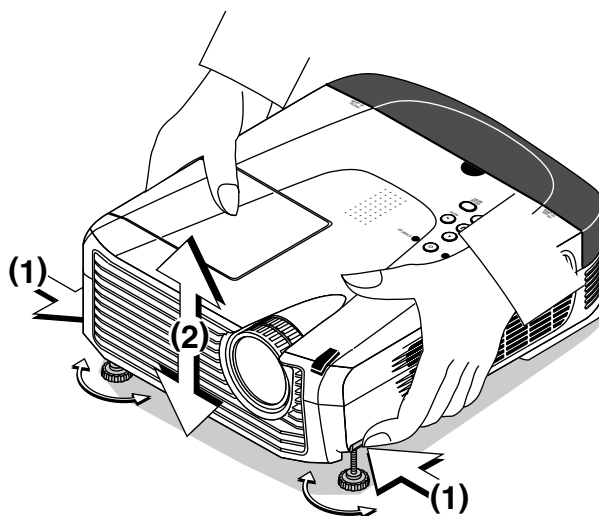
■ アジャスタ調整のしかた

投影画面を上げる場合

投影画面を見ながら (1) 左右にある前部アジャスタボタンを押したまま (2) 本体を持ち上げて投影画面をスクリーンに合わせ、指を離します。

微調整は右・左の前部アジャスタを回して行います。

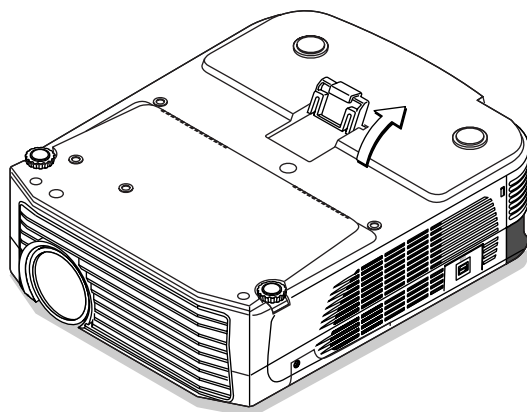
がたつきが無いように調整してください。



投影画面を下げる場合

上記の操作で前部アジャスタを下げてください。それ以上に投影画面を下げる場合は後部アジャスタを起こします。

微調整は右・左の前部アジャスタを回して行います。がたつきが無いように調整してください。



お知らせ

- プロジェクタを天井設置や背面設置する場合は投影方法を変更してください。
→55ページ「上下反転／左右反転」をご覧ください。

ふだんの操作

本体やリモコンボタンでの直接操作の使い方です。

メニューを使つての操作は → 42ページ「メニュー操作の方法」と → 49～62ページの各項目をご覧ください。

入力の選択

投映する入力信号を選択します。本体のSOURCEボタン、またはリモコンのRGB、VIDEOボタンを押します。

それぞれ、入力信号を選択するメニューが表示されますので、SELECT (▲▼) ボタン、または、SOURCE、RGB、VIDEOボタンで選択後、ENTERボタンを押して確定して下さい。

オートソースがオンに設定されている場合、自動で入力信号を順番に検索していきますが、入力信号選択メニューの表示中は、次の入力信号を検索しません。

SOURCEボタン

DVI → RGB → ビューワ → ネットワーク → Video → S-Video

U7-137SF専用

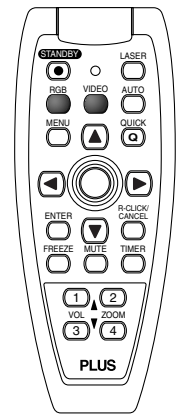
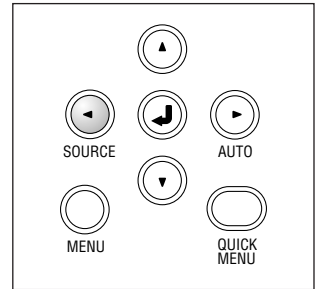
RGBボタン

DVI → RGB → ビューワ → ネットワーク

U7-137SF専用

VIDEOボタン

Video → S-Video



お知らせ

- 入力選択の操作をしない時は、前回使用した入力選択状態になります。
- オートソースのオン/オフにつきましては → 56ページ「オートソース」をご覧ください。
- 入力選択をしても映らない場合は、メニューの入力設定で信号を選んでください。 → 57ページ「入力設定」

アナログRGBの自動調整

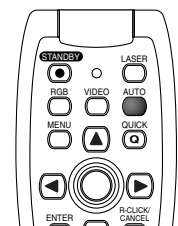
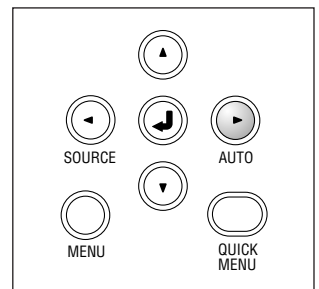
投映しているアナログRGBまたはDVIアナログ入力信号の位置ずれや画面の大きさ、縦じま・色ずれを自動で調整します。

通常は、信号選択時に自動調整されます。

〈本体操作／リモコン操作〉 AUTOボタンを押します。

(メニューやクイックメニューを表示しているときは動作しません。)

ボタンを押すと自動調整を開始します。



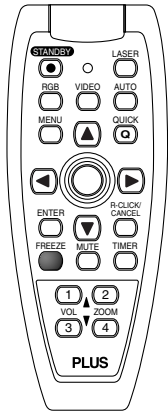
お知らせ

- 自動調整で調整できなかったとき
できるだけ明るい画面（白いウィンドウを画面一杯に広げる）でAUTOボタンを押してください。数回押しでも表示位置がずれていたり、画面に縦じまがでたり映りが悪い場合は、手動で画像調整を行ってください。 → 49ページ「クロック周波数／位相／水平位置／垂直位置」
- 画像が画面よりはみ出す場合や小さい場合は、アスペクトを“オート”に設定します。 → 54ページ「アスペクト」

動画を静止画にする

動画を止めて見る場合に使います。静止画状態でも入力映像は進んでいます。

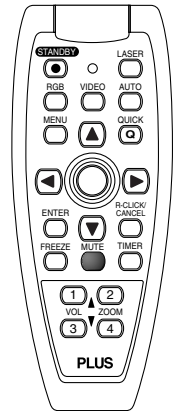
FREEZEボタンを押すと、静止画像に変わります。
再び押すと動画に戻ります。



画像と音声を一時消去する

画像と音声を一時的に消したい場合に使います。

MUTEボタンを押すと画像と音声が消え、設定のバックグラウンド色になります。
再び押すともとに戻ります。

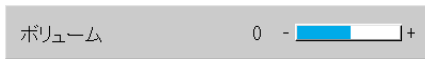


音量の調整

内蔵スピーカの音量調整です。

(1) VOLボタンの▲または▼を押して音量を調整します。

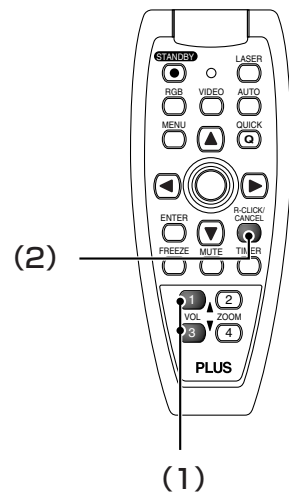
ボタンを押すと音量調整表示が出ます。



▲ボタンは音量が大きくなり、▼ボタンは音量が小さくなります。

(2) すぐ表示を閉じるにはCANCELボタンを押します。

約10秒間操作をしないと表示は閉じます。



お知らせ

- 映像が映映されていないときは、音量を調整しても音はでません。
- 本機のAUDIO端子と付属品のオーディオケーブルで接続してください。

映像の拡大と画像移動

パソコン画像、ビデオ映像をデジタル拡大します。

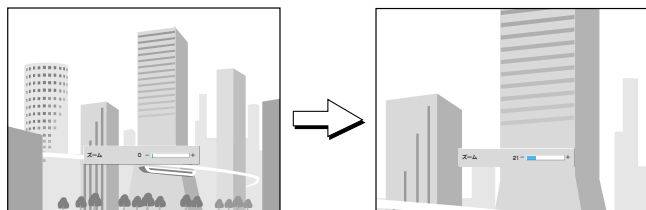
(1) ZOOMボタンを押して映像を拡大します。

ZOOMボタンを押すとズーム表示が出ます。



▲ボタンを押すと約2倍に拡大し、▼ボタンを押すごとに縮小（1：1に戻る）します。

● デジタル、ビューワ、ネットワーク入力時は拡大できません。

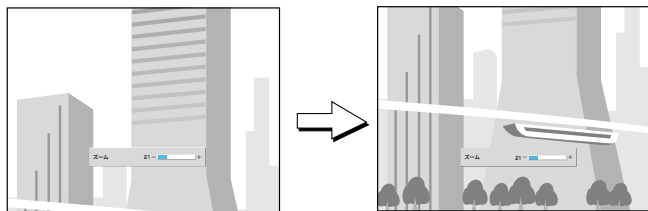


(拡大無し)

(約2倍拡大)

(2) ズーム中に、リモコンのSELECT (▲▼◀▶) ボタンを押すと表示位置が移動します。

(ズーム0のときは移動しません。)

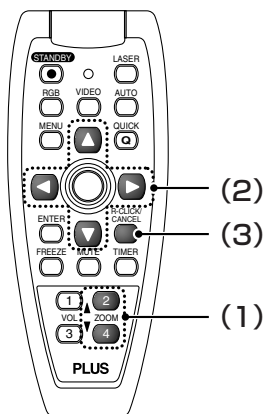


(約2倍拡大)

(移動)

(3) すぐ表示を閉じるにはCANCELボタンを押します。

約10秒間操作をしないと表示は閉じます。



お知らせ

- 拡大の操作が終了したら、必ずZOOMボタンでゲージ値を“0”に戻してください。

■次の場合も画像の移動ができます。

- アナログRGBまたはDVIアナログの信号で [アスペクト] を“リアル”に設定し、かつ、プロジェクタの表示解像度より入力解像度の方が高い場合
- ビデオの信号で [アスペクト] を“ズーム”に設定している場合

お知らせ

- ズームおよび画像移動は、入力を切り換えると解除されます。
- ズームは拡大率が大きいほど画像がぼけてみえます。これはドットを目立たなくするためにデジタル補正しているためです。
- メニュー画面を表示している時には、画面の移動はできません。

プレゼンテーションタイマーを使う

画面に表示のタイマーを確認しながらプレゼンテーションが行えます。

ゲージ表示のため残り時間が瞬時にわかります。

(1) TIMERボタンを押してタイマー設定表示を出します。

約10秒間操作をしないと表示は閉じます。



【タイマー設定表示】

すぐ表示を閉じるにはCANCELボタンを押してください。

(2) SELECT (◀▶) ボタンを押して時間を設定します。

設定内容は オフ、10分～60分まで (10分刻み)



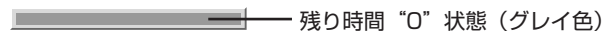
(3) ENTERボタンを押してタイマーを開始させます。

- タイマー設定表示が閉じ、タイマー表示が出ると同時にタイマーを開始します。



【タイマー表示】

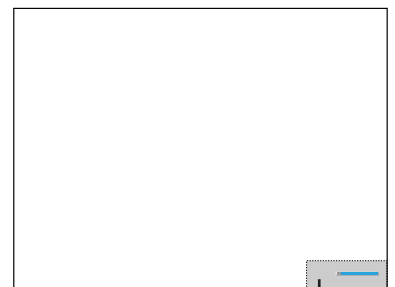
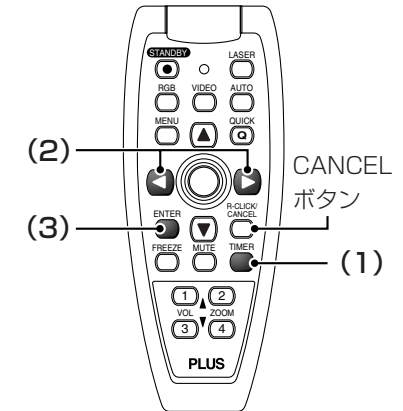
青のゲージで残り時間を知らせます。ゲージがなくなると時間です。停止したまま表示しつづけます。



- タイマーを再スタートするにはENTERボタンを押します。同じ時間設定のタイマーが再開されます。
- タイマー表示を閉じるにはCANCELボタンを押してください。タイマー設定は“オフ”に戻ります。

タイマー表示の位置を移動させたいとき

リモコンのSELECT (▲▼◀▶) ボタンでタイマー表示移動可能範囲内の移動ができます。



タイマー表示移動可能範囲

お知らせ

- タイマー表示はメニューやメッセージを表示している間、Wireless Projector設定画面映写時は閉じますがタイマーは動作しています。また、信号が入力されていないと表示しません。
- プレゼンタイマー表示中はズーム時の画面移動は行えません。
- ビューフ入力時はタイマーのキー操作は出来ません。

レーザーポインタを使う

リモコンのレーザーポインタを使って、ピンポイントで説明したいところを指すことができ、効果的なプレゼンテーションの演出が行えます。

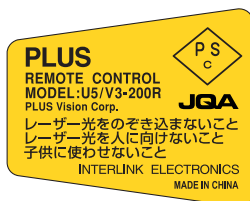
⚠ 注意

レーザーポインタのレーザー光源をのぞかない

次の事項をお守りください。レーザー光が目にあると視力低下・視覚障害の原因となるおそれがあります。

- レーザー光をのぞき込まない。
- レーザー光を人に向けない。
- 子供には使用させない。

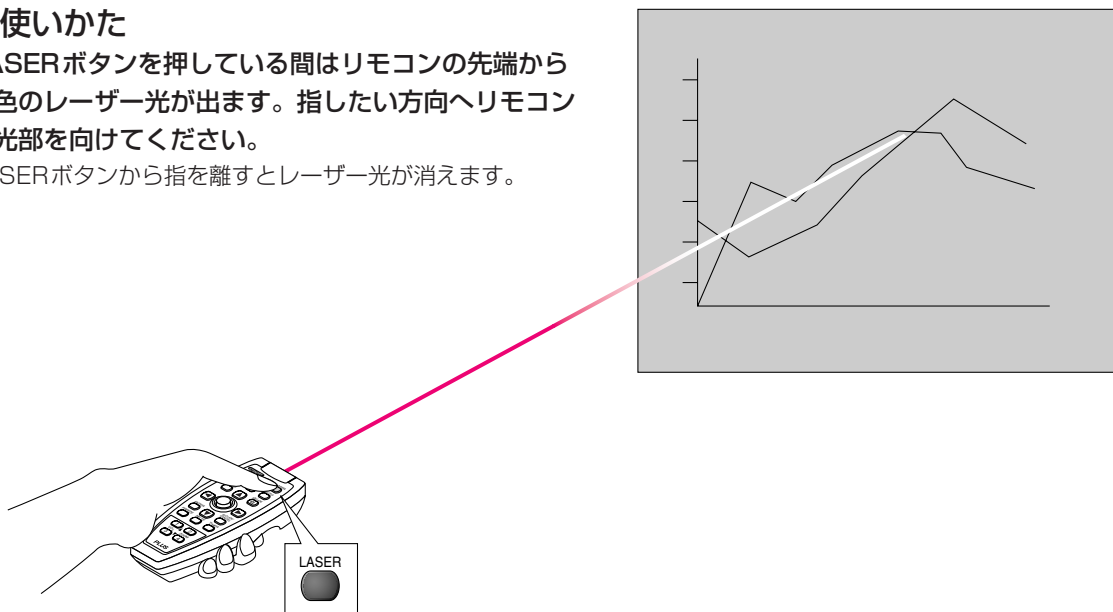
- リモコン底面及び側面に次の内容が記載されています。



■使いかた

LASER ボタンを押している間はリモコンの先端から赤色のレーザー光が出ます。指したい方向へリモコン発光部を向けてください。

LASER ボタンから指を離すとレーザー光が消えます。



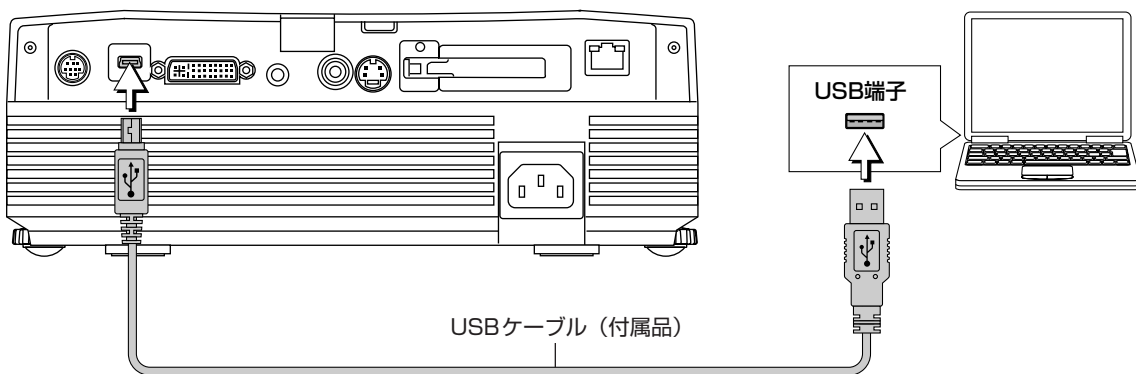
リモコンでパソコンのマウス操作をする

パソコンとプロジェクタを接続するとリモコンからパソコンのマウス操作ができます。パソコン映像を映しているとき、リモコン1つでプロジェクタとパソコンのマウス操作ができ効率的なプレゼンテーションが行えます。

■パソコンとの接続

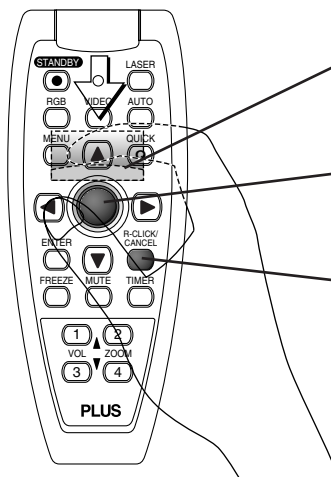
パソコンのUSB（タイプA）端子とプロジェクタのMOUSE端子をプロジェクタに添付のUSBケーブルで接続します。

- お願い**
- ケーブルは確実に差し込んでください。
 - 接続の種類、パソコンのOSなどによっては、接続後に設定の変更や再起動が必要な場合もあります。



■マウス機能ボタンのはたらき

操作するときは、リモコン送信部をプロジェクタのリモコン受光部に向けて操作してください。



L-CLICK ボタン (裏側にあります)
左クリックの動作をします。

JOG ボタン
押した方向にパソコンのポインタが移動します。

R-CLICK ボタン
右クリックの動作をします。

お知らせ R-CLICK/CANCEL ボタンはプロジェクタとマウス機能の共通ボタンです。メニューを開いているときに、R-CLICK/CANCEL ボタンを押すと、メニューが閉じます。

お知らせ

USBケーブルでの接続について

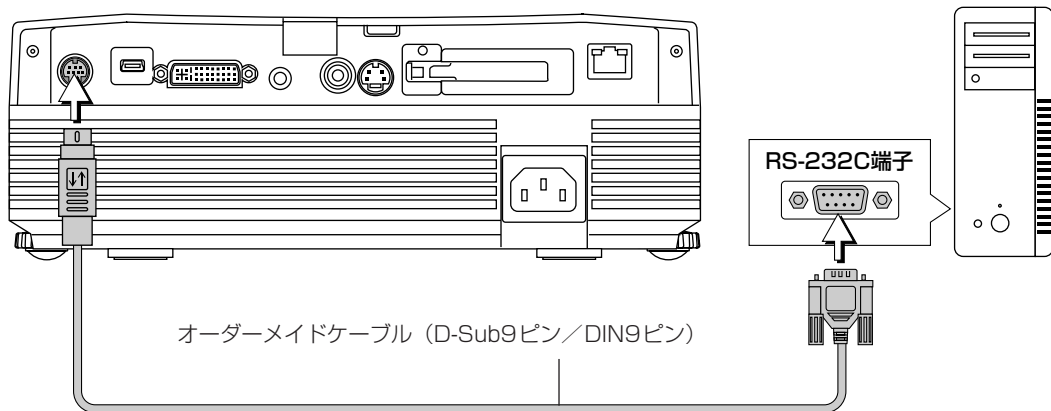
- PC/AT互換機の場合、Windows 98SE/Me/2000/XP以外のOSではご使用になれません。Macintoshの場合、OS 9以降のOS以外ではご使用になれません。
- パソコンのUSBポート、本機のMOUSE端子からケーブルを抜いて再び差しす際には、5秒以上おいてから差ししてください。また、瞬間的な抜き差しを繰り返さないでください。パソコンが本機を正しく認識できないことがあります。
- 添付のUSBケーブルは本機専用です。他のUSB機器との接続については動作保証いたしておりません。
- お使いのパソコンによっては、動作しない場合があります。

パソコンで 프로젝터를制御する

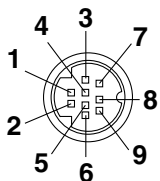
本機の天吊り設置などでリモコンでの操作ができない場合など、制御端子を使います。

■RS-232Cでの接続

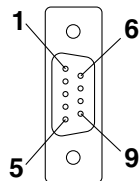
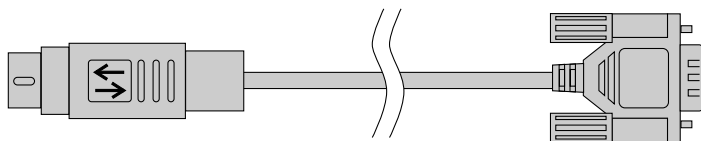
パソコンのRS-232C端子と 프로젝터の制御端子（PC CONTROL）とをオーダーメイドケーブル（D-Sub9ピン/DIN9ピン）で接続します。



オーダーメイドケーブル（D-Sub9ピン/DIN9ピン）のピンアサイン



CN-1 (DIN 9ピン側)



CN-2 (D-Sub 9ピン側)

ピンアサイン	
CN-1 (DIN9ピン)	CN-2 (D-Sub9ピン)
1 (TXD)	3 (PC-TXD)
2	NC
3	NC
4 (GND)	5 (GND)
5	NC
6	NC
7 (RXD)	2 (PC-RXD)
8	NC
9	NC

■LAN経由での接続 U7-137SF専用

LANおよび無線LANを介したTelnet接続にて 프로젝터를制御することもできます。（当社 프로젝터制御コマンド使用）

【お願い】

- お使いのパソコンによっては、動作しない場合があります。
- 制御端子を使用するには専門知識が必要です。天吊りの設置業者などにご相談ください。
- オーダーメイドケーブルは専門知識のある業者に、上記ピンアサインを元に、正しく製造をご依頼ください。

プロジェクトをセキュリティで保護する

プロジェクトのいたずら使用や他人の無断使用を避けるため、パスワードを登録してセキュリティを設定します。

■パスワード登録のしかた

パスワードの登録にはメニューでの操作が必要です。メニュー操作のしかたは → [42ページ](#) 「メニュー操作の方法」

(1) メニューの【オプション】で【セキュリティロック】項目を選択し、【有効】に設定します。

メニューが閉じて、パスワード登録表示に変わります。

映像	カラー	画面	設定	オプション	情報
言語					
表示切替	◀	オン			▶
バックグラウンド	◀	ブルー			▶
起動画面	◀	ロゴ			▶
セキュリティロック	◀	有効			▶
ネットワークパスワード	◀	無効			▶

(2) 数字ボタン（1～4）を使って登録します。

必ず4桁入力してください。

例 パスワード 2441 を登録します。

- ① 数字ボタンの「2」を押すと1桁目に「*（アスタリスク）」付きます。

続けて「4」「4」「1」と数字ボタンを押していくと4桁に「*」が付きます。

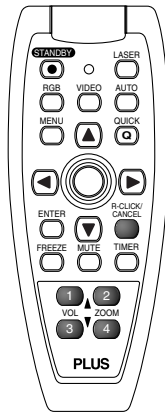
	パスワード
登録入力	* □ □ □
確認入力	□ □ □ □

	パスワード
登録入力	* * * *
確認入力	□ □ □ □

- ② 登録入力した数字をもう一度入力します。登録する数字と同じであればパスワード確認入力に「*」が付きます。間違があると「*」が消えます。①からやり直してください。正しければ、パスワード登録表示が閉じます。

	パスワード
登録入力	* * * *
確認入力	* □ □ □

	パスワード
登録入力	* * * *
確認入力	* * * *



- お知らせ** 入力を取り消す場合は、CANCELボタンを押してください。「*」が消えて1桁目の入力待機に戻ります。セキュリティ登録をやめるにはもう一度CANCELボタンを押してください。[パスワード]表示が閉じます。

これで、パスワードの登録が終わりました。

次回に電源を入れると「パスワード」入力表示がでます。

（お願い）

入力した数字は表示されませんので必ず登録番号をメモ書きし、大切に保管してください。

- 一度設定したパスワードは、大変重要なものです。お客様の責任において人目につかない場所に保管していただくようお願いいたします。
- 万が一、お客様によってセキュリティー機能が解除できない場合は、製品の製造番号、お名前等の確認をさせていただきますこととなりますので、あらかじめご了承ください。

■電源を入れたときパスワード入力表示されたとき

パスワードの登録をすると、電源を入れると投映画面に「パスワード」入力画面が表示されます。パスワードを入力しないとプロジェクトはこの画面を表示し続けます。このときSTANDBYボタン（電源 切）以外は動作しません。次の手順で登録済みのパスワードを入力してください。パスワード登録のしかたは→39ページ

数字ボタン（1～4）を使って入力します。

必ず登録済みの4桁を入力してください。

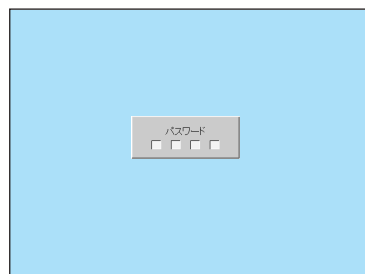
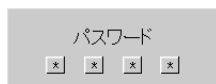
例 パスワード 2441 を入力します。

数字ボタンの「2」を押すと1桁目に「*（アスタリスク）」付きます。



続けて「4」「4」「1」と数字ボタンを押していくと4桁に「*」が付きます。

パスワードが一致すれば表示が消えプロジェクトが使える状態になります。



【パスワード入力画面】

■パスワードを解除する／パスワードを変更する

パスワードの解除／変更にはメニューでの操作が必要です。メニュー操作のしかたは→42ページ「メニュー操作の方法」

映像	カラー	画面	設定	オプション	情報
				言語	☑
				表示切替	◀ オン ▶
				バックグラウンド	◀ ブルー ▶
				起動画面	◀ ロゴ ▶
				セキュリティロック	◀ 無効 ▶
				ネットワークパスワード	◀ 無効 ▶

●パスワードを解除する

メニューの【オプション】で【セキュリティロック】項目を選択し、【無効】に設定します。

これで、パスワードがクリアされ、セキュリティ機能が無効になりました。次回電源を入れたときは、パスワード入力表示はできません。

●パスワードを変更する

上記の操作で【セキュリティロック】を【無効】に切り換えた後、再び【有効】に設定します。メニューが閉じて、パスワード登録表示に変わります。

新しいパスワードを登録してください。→39ページ「パスワード登録のしかた」

●ネットワーク設定をパスワードで保護する

ネットワーク設定をパスワードで保護することが出来ます。

取説「イメージビューワ・ネットワーク編」を参照ください。

クイックメニューを使う

よく使う調整が素早くできます。

接続機器の信号が入力されていないと、クイックメニューは表示しません。
調整したい入力を選択してください。

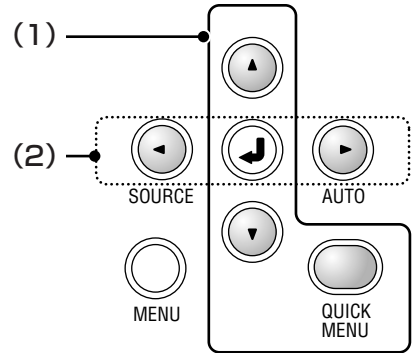
〈本体操作〉

(1) QUICK MENU ボタンを押すとクイック調整表示が出ます。

さらに押すと順次調整表示が切り換わります。

SELECT ボタン (▲▼) を押して目的の調整表示に切り換えます。

(2) SELECT ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押して調整します。



〈リモコン操作〉

(1) QUICK ボタンを押すとクイック調整表示が出ます。

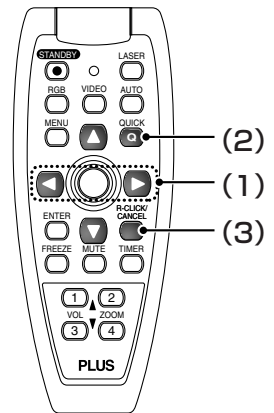
さらに押すと順次調整表示が切り換わります。

SELECT ▲ または ▼ ボタンでも調整表示が切り換わります。

(2) SELECT ◀ または ▶ ボタンを押して調整します。

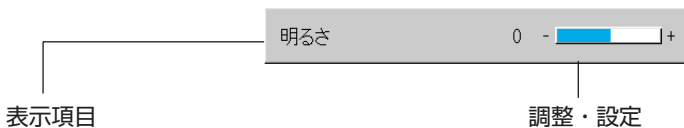
(3) すぐ表示を閉じるには CANCEL ボタンを押します。

約 10 秒間操作をしないと表示は閉じます。



【調整・設定の内容】

【例：明るさ調整表示】



表示項目

調整・設定

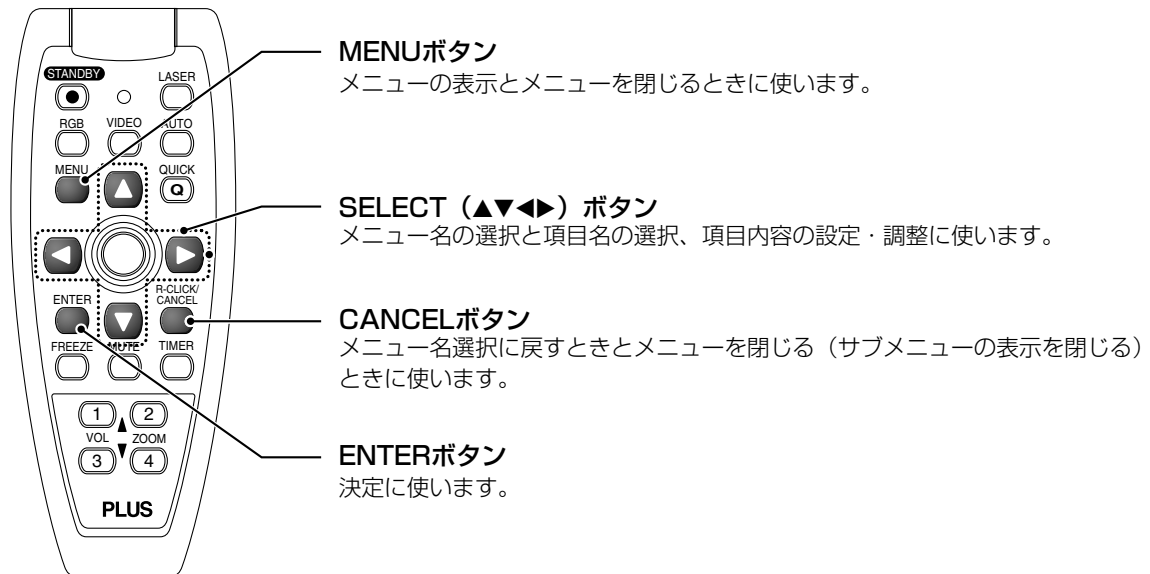
明るさ	映像の明るさを調整します。→49ページ
コントラスト	映像のコントラストを調整します。→49ページ
キーストーン	画面の台形状の歪み（垂直）を補正します。→55ページ
ボリューム	内蔵スピーカの音量を調整します。→33ページ
プレゼンタイマー	プレゼンタイマーの時間を設定します。→35ページ
クイックカラー調整	プリセットされた色モードを選択します。→51ページ

メニュー操作の方法

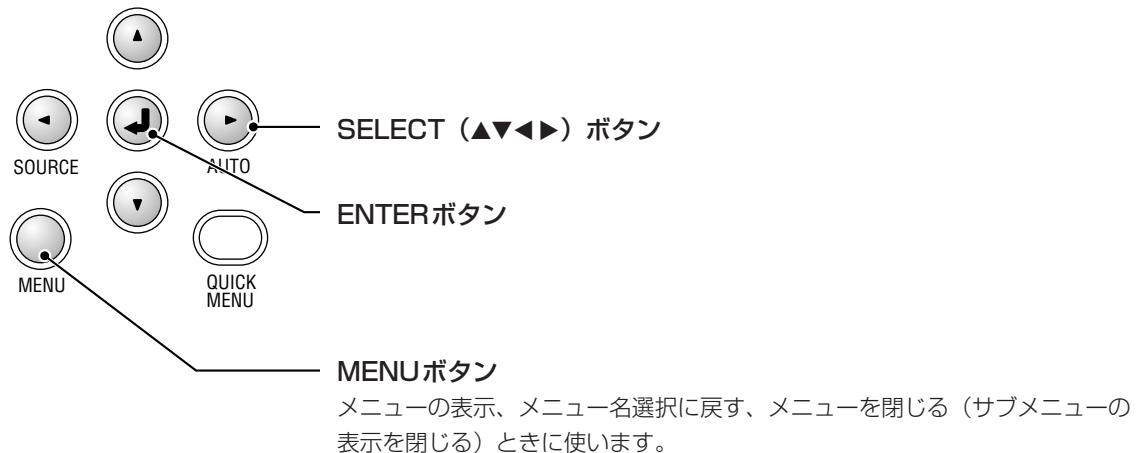
- メニューの操作方法のみを説明します。メニュー操作中にわからなくなったらこの項目をご覧ください。
- メニューの機能や調整・設定のしかたは各々の説明ページをご覧ください。
- 調整・設定は映像を映して、最適な状態に調整します。
- リモコンはプロジェクタのリモコン受光部に向けて操作してください。
- メニューで変更した色々な項目を標準値（工場出荷時の状態）に戻す場合は→61ページ「初期化」をご覧ください。（初期値に戻らない項目もあります。）
- 入力選択によって調整／設定項目や内容が異なり、その入力信号で可能な調整／設定項目をメニュー表示します。

■ メニュー操作で使うボタンの名称とはたらき

【リモコン】



【本体】



■ メニュー画面の名称とはたらき

〈メニュー名〉

メニューの見出しです。メニューを選択すると見出しの画面に変わります。選択されたメニュー名にカーソル（紺色）が移動します。

〈カーソル（紺色）〉

カーソル位置の項目の設定／調整ができます。

〈項目名〉

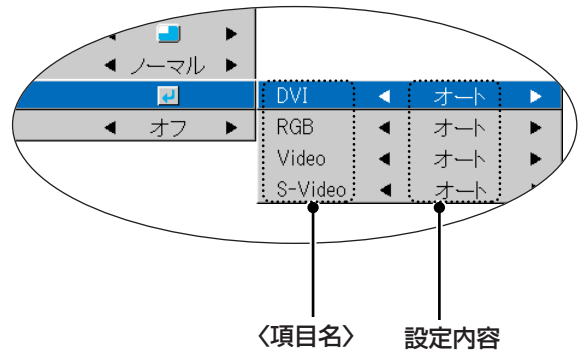
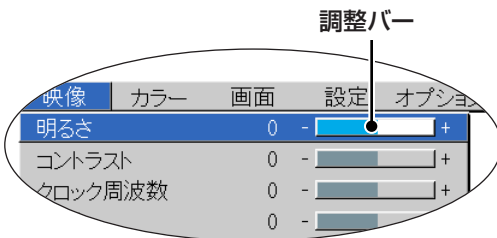
調整・設定の名称です。

アイコン：ENTERボタン（本体は \odot ボタン）を押すとサブメニューや設定内容を表示します。

調整バー・設定内容

調整バー：バーの増減で調整状態を表します。
設定内容：設定されている内容を表示します。

〈サブメニュー〉



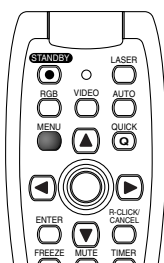
メニュー操作のしかた

- 信号を入力していないときは、[設定]、[オプション]、[情報]のみ選択できます。
- ボタンを押して30秒間次のボタン操作をしないと、メニュー表示は閉じます。
- 調整・設定値は電源を切っても、コンセントを抜いても記憶しています。
(記憶しない項目もあります。)

準備 接続機器の電源を入れ、再生操作などをして本機に信号を入力してください。
調整したい入力を選択してください。
説明図のメニュー表示は項目名 [キーストーン] を選択する場合の例です。

メニューの表示

1 MENUボタンを押して、メニューを表示させる

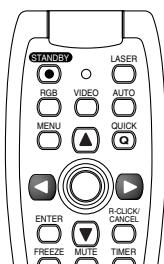


映像	カラー	画面	設定	オプション	情報
明るさ		0	-	+	
コントラスト		0	-	+	
クロック周波数		0	-	+	
位相		0	-	+	
水平位置		0	-	+	
垂直位置		0	-	+	
リセット					+

前回メニューを閉じたときのメニュー名を表示します。

メニュー名の選択

2 SELECT (◀▶) ボタンを押してメニュー名を選択する



映像	カラー	画面	設定	オプション	情報
		アスペクト	◀		オート ▶
		フィルタ	◀		3 ▶
		上下反転	◀		オフ ▶
		左右反転	◀		オフ ▶
		キーストーン		0 -	+
		キーストーンセーブ	◀		オン ▶

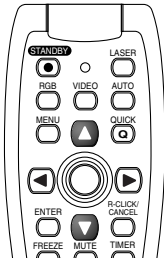
SELECT ▶ ボタンを押すごとに [カラー] → [画面] → [設定] → [オプション] → [情報] → [映像] の方向へ順次変わります。SELECT ◀ ボタンは押すごとに戻ります。選んだメニュー名にカーソルが移動します。

お知らせ

- メニュー名選択時は項目名のカーソルが消えていることをご確認ください。
カーソルを消すには、CANCEL ボタンを押します。

カーソルを出す

3 SELECT ▼ ボタンを押して項目名選択のカーソルを出す



映像 カラー **画面** 設定 オプション 情報

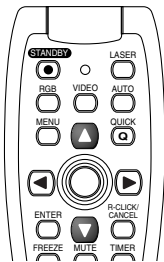
カーソル → アスペクト ◀ オート ▶

この状態で項目名の選択ができます。

アスペクト	◀	オート	▶
フィルタ	◀	3	▶
上下反転	◀	オフ	▶
左右反転	◀	オフ	▶
キーストーン	0	-	+
キーストーンセーブ	◀	オン	▶

項目名の選択

4 SELECT (▲▼) ボタンを押してカーソルを項目名に合わせる



映像 カラー **画面** 設定 オプション 情報

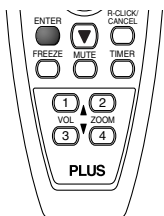
アスペクト	◀	オート	▶
フィルタ	◀	3	▶
上下反転	◀	オフ	▶
左右反転	◀	オフ	▶
キーストーン	0	-	+
キーストーンセーブ	◀	オン	▶

📌 アイコンを表示している項目の場合

ENTER ボタンを押すとサブメニューを表示します。

SELECT (▲▼) ボタンを押してカーソルを目的の項目名に合わせます。

また、設定表示や確認表示が出る項目もあります。各項目説明をご覧ください。



メニュー位置

ランプモード	◀	ノーマル	▶
入力設定	▶	▶	▶
プレゼンタイマー	◀	オフ	▶

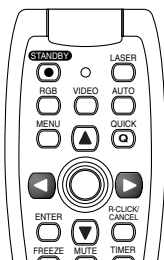
サブメニュー

DVI	◀	オート	▶
RGB	◀	オート	▶
Video	◀	オート	▶
S-Video	◀	オート	▶

調整/設定をする

5 SELECT (◀▶) ボタンを押して画像を見ながら調整 (または設定) する

ボタンを押すと画像も変化します。



映像 カラー **画面** 設定 オプション 情報

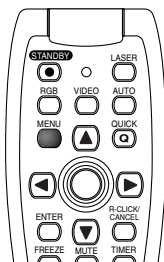
アスペクト	◀	オート	▶
フィルタ	◀	3	▶
上下反転	◀	オフ	▶
左右反転	◀	オフ	▶
キーストーン	0	-	+
キーストーンセーブ	◀	オン	▶

調整表示の場合は、押すごとに変化し、押し続けると順次変化していきます。

設定表示の場合は、設定内容表示が押すごとに切り換わります。

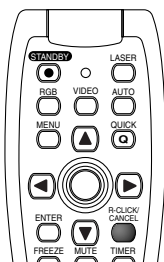
終わる

6 MENUボタンを押してメニュー表示を閉じる



■ メニュー表示中に他のメニュー名を選択する場合

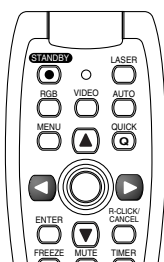
サブメニューを表示している場合は、CANCELボタンを押してサブメニューを閉じます。さらにCANCELボタンを押して項目名のカーソルを消します。



映像	カラー	画面	設定	オプション	情報
		アスペクト		◀	オート ▶
		フィルタ		◀	3 ▶
		上下反転		◀	オフ ▶
		左右反転		◀	オフ ▶
		キーストーン	0	-	◀ [Slider] ▶
		キーストーンセーブ		◀	オン ▶

映像	カラー	画面	設定	オプション	情報
		アスペクト		◀	オート ▶
		フィルタ		◀	3 ▶
		上下反転		◀	オフ ▶
		左右反転		◀	オフ ▶
		キーストーン	0	-	◀ [Slider] ▶
		キーストーンセーブ		◀	オン ▶

SELECT (◀▶) ボタンを押してメニュー名を選択してください。(項目名のカーソルを表示しているとメニュー名の選択はできません。)



映像	カラー	画面	設定	オプション	情報
		明るさ	0	-	◀ [Slider] ▶
		コントラスト	0	-	◀ [Slider] ▶
		クロック周波数	0	-	◀ [Slider] ▶
		位相	0	-	◀ [Slider] ▶
		水平位置	0	-	◀ [Slider] ▶
		垂直位置	0	-	◀ [Slider] ▶
		リセット			[Reset Icon]

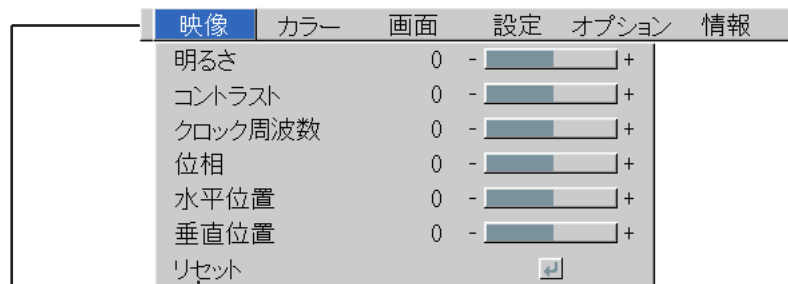
お知らせ

- メニュー表示中にQUICKボタンを押すと、メニューを閉じクイックメニューを表示します。また、クイックメニュー表示中にMENUボタンを押すとクイックメニューを閉じてメニューを表示します。

入力選択と調整／設定可能な項目名の一覧表

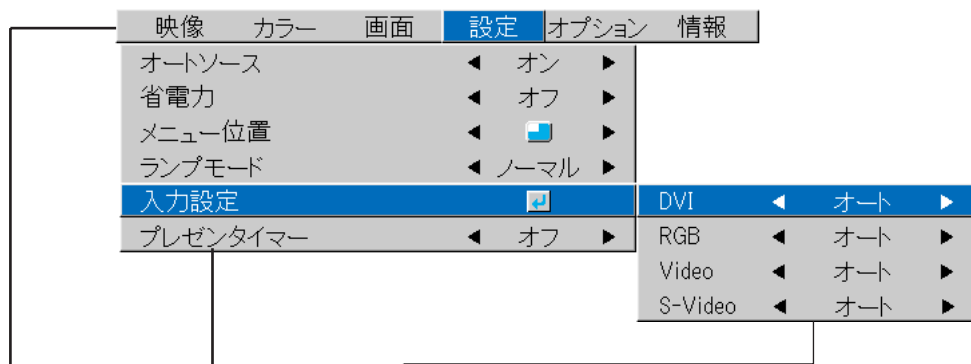
入力信号によっては調整／設定できる項目名が異なります。

【入力信号RGB選択時のメニュー表示項目例】



メニュー名	項目名	サブメニュー項目名	入力端子		DVI			RGB			参照ページ	
			DVI	コンポーネント	DVIアナログ	DVIデジタル	コンポーネント	アナログRGB	VIDEO	S-VIDEO		イメージビューフ
映像	明るさ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	49
	コントラスト		○	○	○	○	○	○	○	○	○	49
	カラー							○	○			49
	色相		○			○		○	○			49
	シャープネス							○	○			49
	クロック周波数			○			○					49
	位相			○			○					50
	水平位置			○			○					50
	垂直位置			○			○					50
	リセット			○	○	○	○	○	○	○	○	50
カラー	クイックカラー調整			○	○		○			○	○	51
	ガンマ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	51
	色温度		○	○	○	○	○	○	○	○	○	52
	ホワイト		○	○	○	○	○	○	○	○	○	52
	カラースペース		○			○						52
	ホワイトバランス			○			○					53
画面	アスペクト		○	○	○	○	○	○	○	○	○	54
	フィルタ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	54
	上下反転		○	○	○	○	○	○	○	○	○	55
	左右反転		○	○	○	○	○	○	○	○	○	55
	キーストーン		○	○	○	○	○	○	○	○	○	55
	キーストーンセーブ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	55

- [色相] はNTSC方式のみ調整できます。
- [カラースペース] が調整できるのはHDTVのみです。
- デジタルRGBの [アスペクト] のリアルは入力信号がXGAサイズ以下の場合のみ調整できます。



メニュー名	項目名	サブメニュー 項目名	入力端子		DVI			RGB			参照ページ	
			DVI	RGB	DVI	DVI	DVI	DVI	DVI	DVI		DVI
設定	オートソース		○	○	○	○	○	○	○	○	56	
	省電力		○	○	○	○	○	○	○	○	56	
	メニュー位置		○	○	○	○	○	○	○	○	56	
	ランプモード		○	○	○	○	○	○	○	○	57	
	入力設定	DVI		○	○	○	○	○	○	○	○	57
		RGB		○	○	○	○	○	○	○	○	57
		Video		○	○	○	○	○	○	○	○	57
S-Video			○	○	○	○	○	○	○	○	57	
プレゼンタイマー		○	○	○	○	○	○	○	○	58		
オプション	言語		○	○	○	○	○	○	○	○	59	
	表示切替		○	○	○	○	○	○	○	○	59	
	バックグラウンド		○	○	○	○	○	○	○	○	59	
	起動画面		○	○	○	○	○	○	○	○	60	
	セキュリティロック		○	○	○	○	○	○	○	○	60	
	ネットワークパスワード		○	○	○	○	○	○	○	○	60	
情報	ステータス		○	○	○	○	○	○	○	○	61	
	初期化		○	○	○	○	○	○	○	○	61	
	ランプ使用時間リセット		○	○	○	○	○	○	○	○	61	
	解像度		○	○	○	○	○	○	○	○	62	
	周波数		○	○	○	○	○	○	○	○	62	
	ランプ使用時間		○	○	○	○	○	○	○	○	62	

映像

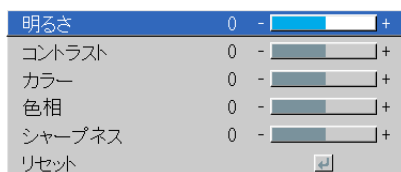
- 調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。
- メニュー名「映像」を選んでください。
メニュー操作のしかたは、→42ページ「メニュー操作の方法」をご覧ください。
入力信号によって項目名表示が異なります。→47ページ「入力選択と調整／設定可能な項目名の一覧表」をご覧ください。

明るさ／コントラスト／カラー／色相／シャープネス

明るい部屋、暗い部屋によって明るさやコントラストなどがかわります。お好みに調整してください。

目的の項目名を選んでから、SELECT (◀▶) ボタンで調整します。

項目名	SELECT ◀ ボタン	SELECT ▶ ボタン
明るさ	暗くなります	明るくなります
コントラスト	画像が淡くなります	画像が濃くなります
カラー	色が淡くなります	色が濃くなります
色相	赤みがかります	緑がかります
シャープネス	やわらかい画像になります	くっきりした画像になります



お知らせ

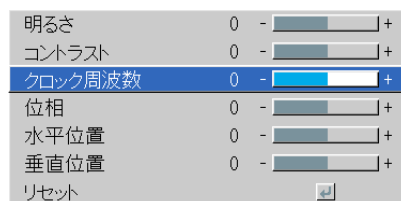
- 調整可能な項目の調整値は、入力ソース別に記憶されます。
- 「色相」はNTSC方式のみ調整できます。

クロック周波数／位相／水平位置／垂直位置

通常は信号選択時に自動調整しますが、自動調整しきれない場合に調整します。

お知らせ

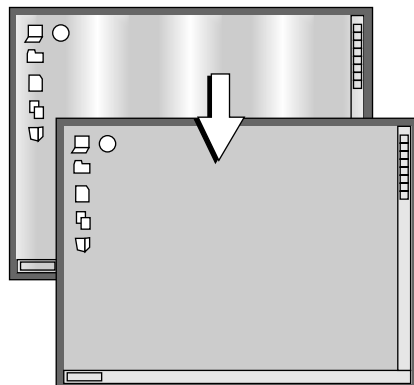
- 画像が画面よりはみ出す場合や小さい場合は、メニューの「画面」→「アスペクト」設定が「オート」に設定されていることをご確認ください。→54ページ「アスペクト」



■クロック周波数

画面に明暗の縦帯が出ている場合に調整します。

項目名「クロック周波数」を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで縦帯が取れて、画面の明るさが一定になるように調整します。

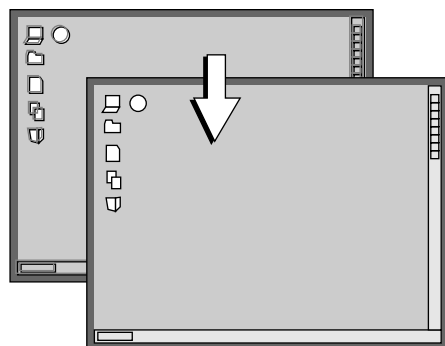


次ページに続く

■位相

画面の色ズレ、ちらつきが出ている場合に調整します。

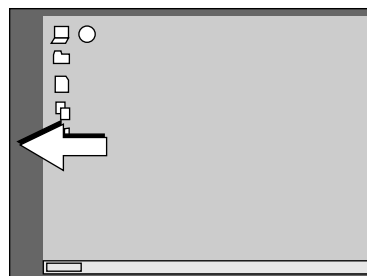
項目名 [位相] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで色ズレやちらつきが目立たなくなるように調整します。



■水平位置

画面が左または右にずれているときに調整します。

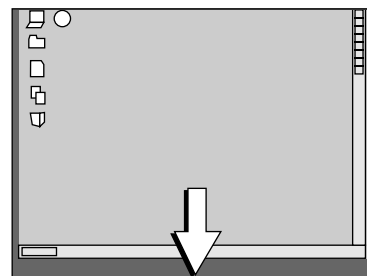
項目名 [水平位置] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで調整します。



■垂直位置

画面が上または下にずれているときに調整します。

項目名 [垂直位置] を選択し、SELECT (▲▼) ボタンで調整します。



リセット

メニュー名の [映像] の調整/設定値をリセット (標準設定に戻す) します。

ENTER ボタンを押すとリセットされます。



お知らせ

- RGB入力時の項目名“位相”はリセットされません。
- メニュー名 [映像] の [リセット] は各入力ソース毎にリセットすることができます。
- 全てのメニュー項目の調整/設定をリセットするには (リセットしない項目もあります)、
→61ページ「初期化」をご覧ください。

カラー

- 調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。
- メニュー名 [カラー] を選んでください。
メニュー操作のしかたは、→42ページ「メニュー操作の方法」をご覧ください。
入力信号によって項目名表示が異なります。→47ページ「入力選択と調整／設定可能な項目名の一覧表」をご覧ください。

クイックカラー調整

プリセットされた色モードを選択します。

項目名 [クイックカラー調整] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

ピクチャー……………色優先の選択です。

スタンダード……………標準の選択です。(デフォルト設定)

ダイナミック……………明るさ優先の選択です。

※ピクチャー、スタンダードまたはダイナミック選択時は、ガンマ・色温度・ホワイトの調整項目はグレイ表示され、選択、および調整はできません。

カスタム……………ガンマ・色温度・ホワイトの調整項目が選択、および調整ができます。

※各調整項目の選択値は保持されますので、お好みの色調整が設定できます。

クイックカラー調整	◀	カスタム	▶
ガンマ	◀	ノーマル	▶
色温度	◀	標準	▶
ホワイト	◀	低	▶
ホワイトバランス			

ガンマ

ガンマは入力信号の明るい部分から暗い部分の変化の割合を補正します。

自然な色合いを再現したり、明るい会議室でパソコン画像をくっきりと投影するときなどに設定します。

項目名 [ガンマ] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

ノーマル……………標準的な補正をします。

ナチュラル……………自然な色合いになるように補正します。

リアル……………明るさ重視の補正をします。

クイックカラー調整	◀	カスタム	▶
ガンマ	◀	ノーマル	▶
色温度	◀	標準	▶
ホワイト	◀	低	▶
ホワイトバランス			

お知らせ [クイックカラー調整] の「ピクチャー」、「スタンダード」または「ダイナミック」を選択しているときは、ガンマの調整項目はグレイ表示され、選択および調整はできません。

色温度

スクリーンは照明などの外光色に影響をうけます。
映像機器の基本色である白色を調整して色の再現性を高めます。
また肌色重視の映像にすることもできます。

項目名 [色温度] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

低……………暖色系の白（赤みがかかる）になります。

中……………暖色系の白（黄みがかかる）になります。

標準……………日光の白になります。

高……………寒色系の白（青みがかかる）になります。

クイックカラー調整	◀	カスタム	▶
ガンマ	◀	ノーマル	▶
色温度	◀	標準	▶
ホワイト	◀	低	▶
ホワイトバランス			

お知らせ [クイックカラー調整] の「ピクチャー」、「スタンダード」または「ダイナミック」を選択しているときは、色温度の調整項目はグレイ表示され、選択および調整はできません。→51ページ「クイックカラー調整」

ホワイト

パソコンでの文書や図面など、白を強調して投映するときに使います。

項目名 [ホワイト] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

“低” “中” “高” の中からお好みのホワイトを選択します。

クイックカラー調整	◀	カスタム	▶
ガンマ	◀	ノーマル	▶
色温度	◀	標準	▶
ホワイト	◀	低	▶
ホワイトバランス			

お知らせ [クイックカラー調整] の「ピクチャー」、「スタンダード」または「ダイナミック」を選択しているときは、ホワイトの調整項目はグレイ表示され、選択および調整はできません。→51ページ「クイックカラー調整」

カラースペース

コンポーネント信号を映したとき、赤っぽい映像または、緑っぽい映像のときに設定します。

項目名 [カラースペース] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで正常な映像になるカラースペースを選択します。

選択内容

BT.709、SMPTE240

ガンマ	◀	ノーマル	▶
色温度	◀	標準	▶
ホワイト	◀	低	▶
カラースペース	◀	BT.709	▶

お知らせ

- コンポーネント信号をプロジェクタの映像表現である赤・緑・青色に変換処理する場合、入力信号の色差変換方式に準拠した方式を使用しないと正しい色が再現できません。これを選択するのがカラースペースです。
- カラースペースが調整できるのはHDTVのみです。

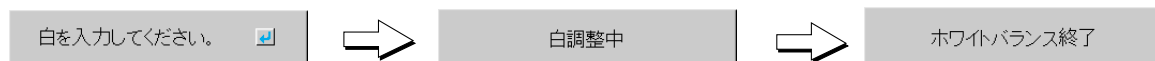
ホワイトバランス

投映しているアナログRGBまたはDVIアナログ入力信号の黒レベルと白レベルをパソコンに合うように自動調整します。これにより色の再現性が高まります。

1. 項目名 [ホワイトバランス] を選択し、ENTERボタンを押します。
[黒を入力してください。] の表示に変わります。
2. 接続しているパソコンの画面の背景を黒にします。
3. ENTERボタンを押します。[黒調整中] の表示に変わり黒レベルを調整します。



4. 黒レベルの調整が終わり、[白を入力してください。] の表示に変わります。
5. 接続しているパソコンの画面の背景を白にします。
6. ENTERボタンを押します。[白調整中] の表示に変わり白レベルを調整します。



[ホワイトバランス終了] をしばらく表示して、調整を終了します。

画面

● 調整／設定したい画像を映した状態で操作してください。

● メニュー名 [画面] を選んでください。

メニュー操作のしかたは、→42ページ「メニュー操作の方法」をご覧ください。

入力信号によって項目名表示が異なります。→47ページ「入力選択と調整／設定可能な項目名の一覧表」をご覧ください。

アスペクト

入力信号の横と縦のアスペクト比の設定です。

項目名 [アスペクト] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

パソコンの信号

オート ……自動で4：3に拡大／縮小して画面いっぱいに投映

ダイレクト …アスペクト比を維持したまま表示可能な最大の大きさで投映

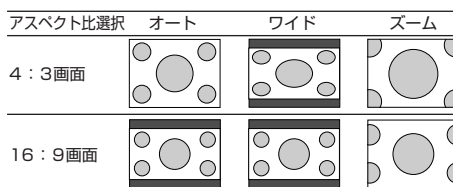
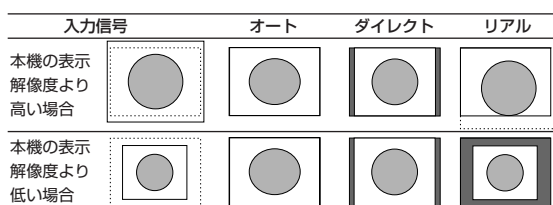
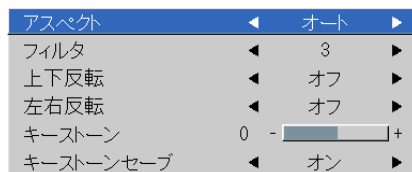
リアル ……入力信号を画素変換しないで投映

ビデオの信号／コンポーネントの信号

オート ……アスペクト比を維持したまま画面からはみ出す部分が無いように画面いっぱいに投映します。(16：9の映像は上下が黒くなります。)

ワイド ……全て16：9で横幅いっぱいに投映します。(スクイーズ画面を正しいアスペクト比で投映する場合に使います。)

ズーム ……16：9やレターボックス中の4：3部分のみを画面いっぱいに投映します。(はみ出た部分はカットされます)



お願い

4：3画面をワイドで投映したり、スクイーズ画面をつぶした映像のまま、喫茶店やホテル等で、営利目的または公衆に視聴させる目的として使用すると、著作権法で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますのでご注意ください。

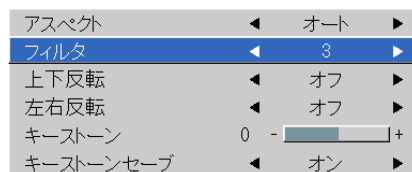
お知らせ

- パソコン信号の“リアル”（入力信号が本機の表示解像度が高い場合）、ビデオ信号の“ズーム”を選択したときは、リモコンのSELECT (▲▼◀▶) ボタンを押すと表示位置の移動ができます。ただし、メニューやクイックメニューを出している場合は移動しません。
- デジタルRGBの [アスペクト] のリアルは入力信号がXGAサイズ以下の場合のみ調整できます。

フィルタ

入力信号を本機の解像度に合わせて拡大または縮小したときの鮮明度の設定です。

項目名 [フィルタ] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。



数値の少ない方がシャープになり、大きい方がソフトな画像になります。お好みの設定値を選択してください。

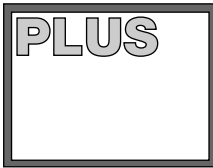
上下反転／左右反転

スクリーンへの投映方法の選択で、 프로젝터를天吊りや背面設置などする場合に設定します。

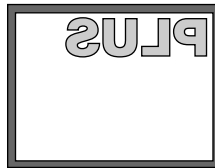
項目名 [上下反転] または [左右反転] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

アスペクト	◀	オート	▶
フィルタ	◀	3	▶
上下反転	◀	オフ	▶
左右反転	◀	オフ	▶
キーストーン	0	-	+
キーストーンセーブ	◀	オン	▶

[上下反転] オフ
[左右反転] オフ



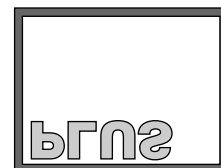
[上下反転] オフ
[左右反転] オン



[上下反転] オン
[左右反転] オン



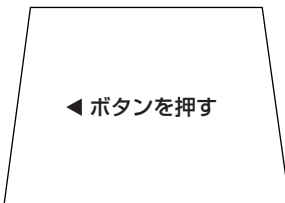
[上下反転] オン
[左右反転] オフ



キーストーン

프로젝터とスクリーンが斜めに（上下方向）なっていると台形の歪みが生じます。この歪み補正に使用します。

項目名 [キーストーン] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで台形状の歪みを修正します。



アスペクト	◀	オート	▶
フィルタ	◀	3	▶
上下反転	◀	オフ	▶
左右反転	◀	オフ	▶
キーストーン	0	-	+
キーストーンセーブ	◀	オン	▶

お知らせ

- メニューなどのオンスクリーン表示は調整できません。
- 投映画像の内容や投映状態によっては、画像が十分に補正されない場合がありますので、予めご了承ください。

キーストーンセーブ

キーストーン調整値を保存するときに使います。

キーストーンセーブをオンに設定しておくで電源コードを抜いて、再び電源コードを接続して投映した場合でも、前のキーストーン調整値になります。

アスペクト	◀	オート	▶
フィルタ	◀	3	▶
上下反転	◀	オフ	▶
左右反転	◀	オフ	▶
キーストーン	0	-	+
キーストーンセーブ	◀	オン	▶

項目名 [キーストーンセーブ] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定します。

- オフ ……電源コードを抜くと、キーストーン調整値は初期値に戻ります。
オン ……電源コードを抜いても、キーストーン調整値を保存しています。

お知らせ

- キーストーンセーブが“オン”“オフ”どちらの設定でも、電源コードを抜かないかぎり調整値は保存されています。

設定

●メニュー名 [設定] を選んでください。

メニュー操作のしかたは、→42ページ「メニュー操作の方法」をご覧ください。

入力信号によって項目名表示が異なります。→47ページ「入力選択と調整/設定可能な項目名の一覧表」をご覧ください。

オートソース

オートソースは電源を入れたとき、入力を切り換えたときに入力されている信号を自動で検出する機能です。

項目名 [オートソース] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

オン ……自動検出します。

オフ ……自動検出しません。

“オン” 時の信号検出順は…

DVI→RGB→**ビューワ**→ネットワーク→Video→S-Video をくり返し検索します。

U7-137SF専用

信号を検出すると検索をやめ投映します。

オートソース	◀	オン	▶
省電力	◀	オフ	▶
メニュー位置	◀		▶
ランプモード	◀	ノーマル	▶
入力設定			
プレゼンタイマー	◀	オフ	▶

省電力

プロジェクタの入力が無信号状態になったとき、自動でプロジェクタの電源を切ります。

項目名 [省電力] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

オン ……無信号時に電源を切ります。

オフ ……無信号でも電源は切りません。

“オン” 時の動作

- 無信号状態が約 10 秒つづくと、“No Signal パワーオフ” 表示が出ます。約 5 分後に電源が切れます。
- 表示が出ている間に信号を入力するか、STANDBY ボタン以外の操作ボタンを押すと表示を閉じて解除されます。



お知らせ

- ビデオデッキなどには再生が終了するとビデオデッキ側からブルーバックなどの映像を出力する機器があります。この場合は本機に信号が入っていますので動作しません。

メニュー位置

メニューの表示位置を設定します。

項目名 [メニュー位置] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

 ……左側に表示します。

 ……右側に表示します。

オートソース	◀	オン	▶
省電力	◀	オフ	▶
メニュー位置	◀		▶
ランプモード	◀	ノーマル	▶
入力設定			
プレゼンタイマー	◀	オフ	▶



ランプモード

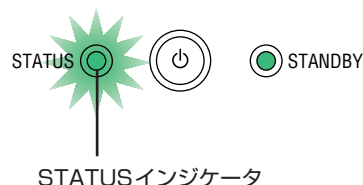
小さいスクリーンサイズで映して画面が明るすぎるときや暗い室内で映す場合に使います。

項目名 [ランプモード] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

エコ ……ランプの輝度が80%になり、ランプ寿命がのびます。
(STATUSインジケータ緑点灯)

ノーマル ……ランプの輝度が100%になり、明るい画面になります。
(STATUSインジケータ消灯)

オートソース	◀ オン ▶
省電力	◀ オフ ▶
メニュー位置	◀  ▶
ランプモード	◀ ノーマル ▶
入力設定	◀  ▶
プレゼンタイマー	◀ オフ ▶



お知らせ

- ランプモードを頻繁に切り換えるとランプ劣化の原因となることがあります。

入力設定

入力端子の入力信号の設定に使います。

通常はオートに設定してください。オートで識別できない場合に設定します。

項目名 [入力設定] を選択し、ENTERボタンを押すと、サブメニューが開きます。

変更する端子を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

オートソース	◀ オン ▶	
省電力	◀ オフ ▶	
メニュー位置	◀  ▶	
ランプモード	◀ ノーマル ▶	
入力設定	◀  ▶	DVI ◀ オート ▶
プレゼンタイマー	◀ オフ ▶	RGB ◀ オート ▶
		Video ◀ オート ▶
		S-Video ◀ オート ▶

[DVI]

DVI端子の信号設定です。

オート ……信号を自動判別します。

RGB ……アナログRGB信号が設定されます。

デジタル ……デジタルRGB信号が設定されます。

コンポーネント ……コンポーネント信号が設定されます。

[RGB]

RGB端子の信号設定です。

オート ……信号を自動判別します。

RGB ……アナログRGB信号が設定されます。

コンポーネント ……コンポーネント信号が設定されます。

次ページに続く

[Video]、[S-Video]

[Video] はVIDEO端子のカラー方式、[S-Video] はS-VIDEO端子のカラー方式の設定です。

- オート ……………自動判別します。
- NTSC ……………NTSC方式に固定します。
- NTSC 4.43 ……NTSC 4.43方式に固定します。
- PAL ……………PAL方式に固定します。
- PAL M ……………PAL M方式に固定します。
- PAL N ……………PAL N方式に固定します。
- PAL 60 ……………PAL 60方式に固定します。
- SECAM ……………SECAM方式に固定します。

お願い

- 信号設定を替えたときに映像が映らない場合は、一度入力信号を接続しなおしてください。

プレゼンタイマー

画面の表示タイマーを確認しながらプレゼンテーションが行えます。

ゲージ表示のため残り時間が瞬時にわかります。

項目名 [プレゼンタイマー] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

設定内容 ……オフ、10分、20分、30分、40分、50分、60分

タイマーを開始させるには

MENUボタンを押してメニューを閉じます。

タイマー表示が右下に出てタイマーを開始します。

詳しくは、➔[35ページ](#)「プレゼンテーションタイマーを使う」



オプション

●メニュー名 [オプション] を選んでください。

メニュー操作のしかたは、→42ページ「メニュー操作の方法」をご覧ください。

入力信号によって項目名表示が異なります。→47ページ「入力選択と調整/設定可能な項目名の一覧表」をご覧ください。

言語

メッセージやメニュー表示などのオンスクリーンに表示する言語の設定です。

項目名 [言語] を選択し、ENTER ボタンを押すと言語のサブメニューが開きます。

SELECT (▲▼) ボタンで言語を選択します。

言語		English
表示切替	◀ オン ▶	Deutsch
バックグラウンド	◀ ブルー ▶	Français
起動画面	◀ ロゴ ▶	Italiano
セキュリティロック	◀ 無効 ▶	Español
ネットワークパスワード	◀ 無効 ▶	Svenska
		한국어
		中文
		日本語

表示切替

入力信号情報やアスペクトなど黒枠で表示するメッセージをオン/オフします。

項目名 [表示切替] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

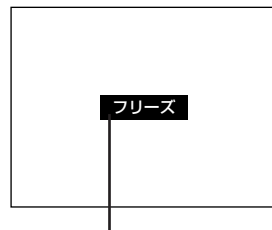
オン ……メッセージを表示します。

オフ ……メッセージを表示しません。

お知らせ

- オフに設定しても黒枠でないメッセージは表示します。

言語		
表示切替	◀ オン ▶	
バックグラウンド	◀ ブルー ▶	
起動画面	◀ ロゴ ▶	
セキュリティロック	◀ 無効 ▶	
ネットワークパスワード	◀ 無効 ▶	



FREEZE ボタンを押したときの表示例

バックグラウンド

入カソースが無信号時の画面色の設定です。

項目名 [バックグラウンド] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

ブルー ……無信号時ブルー画面になります。

ブラック ……無信号時ブラック画面になります。

言語		
表示切替	◀ オン ▶	
バックグラウンド	◀ ブルー ▶	
起動画面	◀ ロゴ ▶	
セキュリティロック	◀ 無効 ▶	
ネットワークパスワード	◀ 無効 ▶	

起動画面

スタートアップ時のロゴ画面の表示／非表示の選択です。

項目名 [起動画面] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

ロゴ ……ロゴを表示します。

ブランク ……ロゴを表示しません。

言語		☑
表示切替	◀	オン ▶
バックグラウンド	◀	ブルー ▶
起動画面	◀	ロゴ ▶
セキュリティロック	◀	無効 ▶
ネットワーク パスワード	◀	無効 ▶

お知らせ

- 起動画面で“ロゴ”を選択した時、“PLUS”のロゴが表示されます。

セキュリティロック

プロジェクトのいたずらや無断使用を避けるため、パスワードを登録してセキュリティを設定します。

セキュリティ機能の使いかたは、[→39ページ](#)「プロジェクトをセキュリティで保護する」をご覧ください。

項目名 [セキュリティロック] を選択し、SELECT (◀▶) ボタンで設定内容を選択します。

無効 ……セキュリティが無効になります。

パスワードを入力しなくてもプロジェクトが動作します。

有効 ……セキュリティが有効になります。

電源を入れるとセキュリティがはたらき、パスワードを入力しないとプロジェクトは動作しません。

言語		☑
表示切替	◀	オン ▶
バックグラウンド	◀	ブルー ▶
起動画面	◀	ロゴ ▶
セキュリティロック	◀	無効 ▶
ネットワーク パスワード	◀	無効 ▶

ネットワークパスワード

U7-137SF専用

詳しくは取説「イメージビューワ・ネットワーク編」を参照ください。

言語		☑
表示切替	◀	オン ▶
バックグラウンド	◀	ブルー ▶
起動画面	◀	ロゴ ▶
セキュリティロック	◀	無効 ▶
ネットワーク パスワード	◀	無効 ▶

情報

●メニュー名「情報」を選んでください。

メニュー操作のしかたは、→42ページ「メニュー操作の方法」をご覧ください。

入力信号によって項目名表示が異なります。→47ページ「入力選択と調整／設定可能な項目名の一覧表」をご覧ください。

ステータス

機器の情報を表示します。

項目名「ステータス」を選択し、ENTERボタンを押します。

ステータス表示に変わります。

CANCELボタンを押すとメニューに戻ります。

ステータス	
初期化	
ランプ使用時間リセット	
解像度	1024 X 768
周波数	60 Hz, 78kHz
ランプ使用時間	1000 h

表示内容

本機の名称

バージョン情報

弊社のインターネットホームページアドレス

U7/U8 Series
Ver. 00/00/00A,B.00.0
www.plus-vision.com

初期化

全ての入力ソースの調整や設定を標準（工場設定値）に戻します。

項目名「初期化」を選択し、ENTERボタンを押します。

["ENTER"を押すと初期化します。]の表示に変わります。

ENTERボタンを押すと初期化されます。

取りやめるときは、CANCELボタンを押すとメニューに戻ります。

ステータス	
初期化	
ランプ使用時間リセット	
解像度	1024 X 768
周波数	60 Hz, 78kHz
ランプ使用時間	1000 h

ENTERを押すとメニューを初期化します。

初期化されない項目

上下反転／左右反転・言語・ランプ使用時間・セキュリティロック・ネットワークパスワード

ランプ使用時間リセット

ランプの使用時間をリセットします。ランプカートリッジを交換したときは必ずリセット操作を行ってください。

項目名「ランプ使用時間リセット」を選択し、ENTERボタンを押します。

["ENTER"を押すとランプ使用時間をリセットします。]の表示に変わります。

ENTERボタンを押すと初期化されます。

取りやめるときは、CANCELボタンを押すとメニューに戻ります。

ステータス	
初期化	
ランプ使用時間リセット	
解像度	1024 X 768
周波数	60 Hz, 78kHz
ランプ使用時間	1000 h

ENTERを押すとランプ使用時間をリセットします。

周波数／解像度

検出された入力信号の解像度と周波数を表示します。

ステータス	
初期化	
ランプ使用時間リセット	
解像度	1024 X 768
周波数	60 Hz, 78kHz
ランプ使用時間	10 h

ランプ使用時間

ランプ使用時間を表示します。

本機にはエコモード機能があります。ノーマルモードとエコモードではランプの寿命が異なります。

ステータス	
初期化	
ランプ使用時間リセット	
解像度	1024 X 768
周波数	60 Hz, 78kHz
ランプ使用時間	10 h

ランプ寿命

ノーマルモード時のみ使用：約2000時間

エコモード時のみ使用：約3000時間

※切り換えて使用している場合はランプ寿命が変動します。

● ランプ寿命に到達した場合

画面上に「ランプを交換してください。」と1分間隔で10秒間表示します。

新しいランプと交換してください。

ランプカートリッジ交換のしかたは [→67ページ](#) 「ランプカートリッジの交換」をご覧ください。

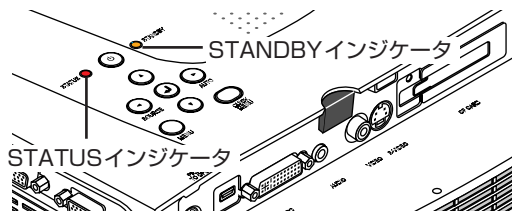
● ランプ寿命に到達後100時間を超えた場合（エコモード時も含む）













「警告!!システムシャットダウン」と10秒間表示して強制的に電源を切ります。この状態の場合はSTANDBYボタンを押しても電源は入りません。ランプカートリッジを交換してください。

インジケータが点灯／点滅しているときは

本体操作部のインジケータが点灯したり点滅しているときは、下記の異常を知らせています。

電源の入／切の動作状態もインジケータで知らせます（正常状態）。 → 27ページ「電源コードの接続と入／切」



インジケータの状態		行ってください
 STATUS 赤点灯	 STANDBY 電源ON時（緑点灯） スタンバイ時（オレンジ点灯）	ランプ交換時期です。 新しいランプカートリッジに交換してください。
 STATUS 赤点灯	 STANDBY オレンジ60秒点滅後 オレンジ点灯	ランプ寿命です。電源は入りません。 ランプ寿命到達後100時間使用しています。 新しいランプカートリッジに交換してください。
 STATUS 赤点滅（1秒点灯／1秒消灯）	 STANDBY 赤点灯	ランプカバーが開いています。 ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。
 STATUS 赤点滅（0.5秒点灯／0.5秒消灯）	 STANDBY 赤点灯	温度が異常に高くなっています。 ※下記「温度プロテクタについて」を参照ください。
 STATUS 赤点滅（0.5秒点灯／0.5秒消灯）	 STANDBY オレンジ点灯	ファンが停止しています。 電源コードを抜き、販売店または弊社「カスタマーセンター」へ修理を依頼してください。
 STATUS 赤点滅（1秒点灯／1秒消灯）	 STANDBY 使用中にランプが消えた場合 オレンジ90秒点滅してから オレンジ点灯 最初からランプが見つからない場合 オレンジ点灯	ランプが点灯しません。 90秒以上待つて再度電源を入れてください。それでもおられない場合は、電源コードを抜き、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

インジケータが正常状態および上記以外の間隔で点滅しているときは、電源コードを抜き、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

温度プロテクタについて

プロジェクト内部の温度が異常に高くなるとSTATUSインジケータが（0.5秒点灯／0.5秒消灯）赤点滅し、STANDBYインジケータは赤点灯して、同時に温度プロテクタが働いてプロジェクトの電源が切れます。

このときは、以下のことを行ってください。

1. 電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。
2. 次の事項を確認し、必要な処置をしてください。
 周囲温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
 排気孔、吸気孔を調べて、目詰まりしているときは掃除をしてください。
3. プロジェクトの温度が下がるまで、約60分待ってください。
 以上のことを行っても解決しないときは、販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

故障かな？と思ったら

■修理を依頼される前に、つぎのことをご確認ください。


このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。● ランプカバーが正しく取り付けられていますか。● 本機の温度が高くなっていませんか。本機の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。● ランプ寿命を超えて使用していませんか。● 電源コード挿入時（電源ON時）のタイミングによっては、STANDBYインジケータ（LED）が点灯せず電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。その場合はもう一度、電源コードを抜き差ししてください。	27 69 63 62 —
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none">● 接続されている入力を選んでいませんか。● 入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。● パソコン接続の場合、パソコンから信号が出ていますか。● 本機の対応周波数以外の信号を入力していませんか。● 映像調整の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。● STATUSインジケータが赤色で点灯または点滅していませんか。● DVDプレーヤのコンポーネント信号をDVI端子またはRGB端子と接続しているとき、映像が出ない場合DVI端子またはRGB端子の【入力設定】が正しく選択されていますか。● アナログRGBまたはDVIアナログ入力の場合、画面調整を正しく行って	57・58 20～26 22 71 49 63 57 49・50
映像が歪む	<ul style="list-style-type: none">● 正しく設置されていますか。● 台形状に歪む場合は台形補正の調整を行ってください。	30 55
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none">● レンズのフォーカス（焦点）は合っていますか。● 投映画面とプロジェクタが正しい距離で設置されていますか。● 投映距離がフォーカスの合う範囲を超えていませんか。● レンズなどが結露していませんか。 <p>気温の低い所に保管しておいて暖かい所で電源を入れるとレンズや内部光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるのをご確認後ご使用ください。</p>	31 19 19 —
映像位置がずれて正常に表示されない	<ul style="list-style-type: none">● パソコン入力の場合、水平位置、垂直位置を正しく調整しましたか。● 入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 <p>パソコンの解像度をご確認ください。</p>	50 71
ビデオ映像がつぶれている	<ul style="list-style-type: none">● 映像が横または縦方向につぶれているときや画面一杯に映らない場合はアスペクト比の選択を行ってください。	54
映像全体の色がおかしい	<ul style="list-style-type: none">● コンポーネント信号（HDTV信号のみ）を入力している場合は、カラースペースの設定が異なっていませんか。● コンポジット入力の場合は、色相の調整がずれていませんか。	52 49

故障かな？と思ったら

このようなとき	確認してください	参照ページ
アナログRGB入力で文字がチラついたり色がずれている場合	● メニューの [映像] のクロック周波数、位相を調整してください。	49・50
メニュー名の選択ができない	● [設定]、[オプション]、[情報] 以外は本機に信号を入力して、映像／画像を投射していないと選択できません。	—
リモコンが操作できない	● リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。 ● リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物がありませんか。 ● リモコンの有効範囲を超えていませんか。 ● リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	17 17 17 17
STATUSインジケータが赤色で点灯または点滅する	● 「インジケータが点滅／点灯しているときは」をご覧ください。	63

以上をご確認いただいても解決できない場合は、ご購入販売店または弊社[カスタマーセンター](#)をご利用ください。

お知らせ

- 青色になっている“カスタマーセンター”上に手アイコンを合わせるとアイコンに変わります。マウスをクリックすると“弊社カスタマーセンターお問い合わせ方法”にジャンプします。

お手入れについて

- お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プロジェクタ本体やレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■ プロジェクタ本体の汚れは……

- 毛羽立ちのすくない柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 排気孔・吸気孔のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
- プロジェクタ本体を爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。

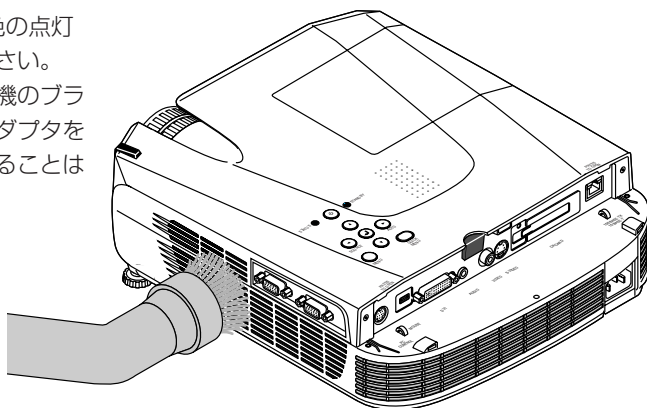
■ レンズのよごれは……

- カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようご注意ください。

■ 吸気孔、排気孔のほこりは……

吸気孔、排気孔にほこりがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。最低でも使用期間100時間を目安に掃除をしてください。

- 電源を切りSTANDBYインジケータがオレンジ色の点灯に変わったのを確認後、電源コードを抜いてください。
- 外側から電気掃除機で吸い取ってください。掃除機のブラシ付きのアダプタを使用してください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



■ 本体内部の掃除は……

- 年に1度くらいは本体内部の掃除が必要です。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除はご自分でせず、必ず販売店または弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

ランプカートリッジの交換

- 本機の光源に使われているランプには寿命があります。ランプの定格寿命は約2000時間です（ノーマルモードのみ使用時）。なお、ランプ寿命は約2000時間ですが、使用条件などにより早まる場合があります。なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ寿命が延びます。
(定格寿命とは、長期間に製造されたランプの、寿命の平均値を言い、当社試験条件によるものです。)
- ランプの寿命を超えるとSTATUSインジケータが赤点灯し、メッセージ「ランプを交換してください。」が画面上に表示されます。この場合はランプカートリッジの交換時期です。以下の手順にしたがって交換してください。
- ランプ寿命から100時間使用すると、スタンバイ状態になり電源が入らなくなります。
- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際はU7-132SF/U7-132hSF/U7-137SF専用交換用ランプ型名U7-300（注文コード28-057）とご指定ください。

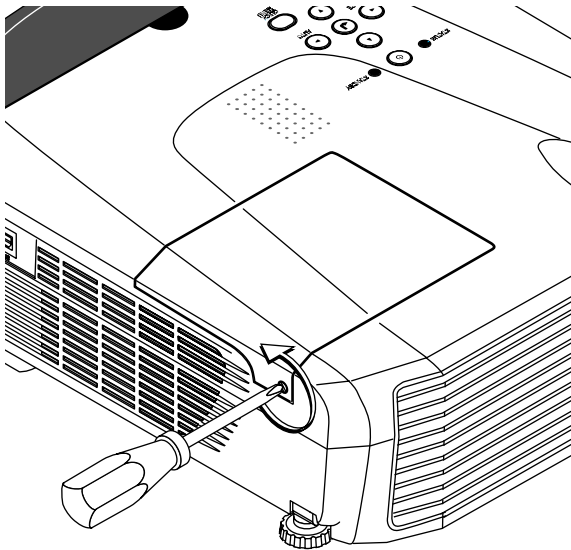
注意

- ランプカートリッジの交換は、電源を切り、STANDBYインジケータがオレンジの点灯に変わったのを確認後、電源プラグをコンセントから抜き、約60分おいてから行ってください。
動作中や停止直後にランプカートリッジを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。
- 交換作業は危険防止のため、顔より下の位置で行ってください。
顔より上の位置で行いますと、万一ランプカートリッジが破裂していた場合、ガラスの破片等が目などに入り、けがなどの原因となることがあります。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプ（以下、高圧水銀ランプ又はランプと言う）を使用しております。取り扱いには十分にご注意ください。
- ランプの使用時間が2000時間（ノーマルモードのみ使用時）を超えると、本体のSTATUSインジケータが赤点灯します。
ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。
- 高圧水銀ランプは衝撃や傷、使用時間の経過による劣化の原因により、不点灯状態となって寿命が尽きたり、大きな音をともなって破裂したりする特性があります。
- ランプカートリッジのガラスの部分を素手で触らないでください。ランプの破裂や寿命が短くなる原因となります。また、ランプは使用条件や個体差によって寿命が異なります。
まれにですが、使用後まもなく破裂する事もあります。
- 高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプハウスの中にガラスの破片が飛び散りランプ内部のガスがプロジェクタの通風孔を通じ外に漏れる可能性があります。
ランプが破裂した際には顔や手などを近づけず、速やかに販売店もしくは弊社「カスタマーセンター」(☎0120-331-059) にランプの交換と内部の点検を依頼してください。
- 高圧水銀ランプの内部には、水銀等の人体に有害な物質が含まれております。ランプが破裂したときにプロジェクタの近くに顔や手などがあり、万が一ランプから発生したガスを吸い込んだり、体に付着した場合には、速やかに医師にご相談ください。
- プロジェクタのランプは、蛍光灯やハロゲンランプと同じ有害物質（水銀、ハロゲン物質等）を使用しております。
ご使用後のランプは、一般的な蛍光灯などと同じ分別方法で廃棄してください。

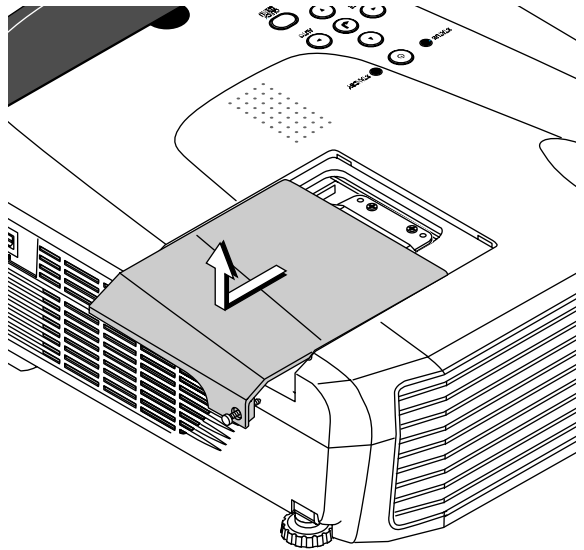
1. 電源コードを外す。

2. ランプカバーを外す。

(1) ランプカバーの止めネジを左へ空回りするまでゆるめます（ネジは外れません）。

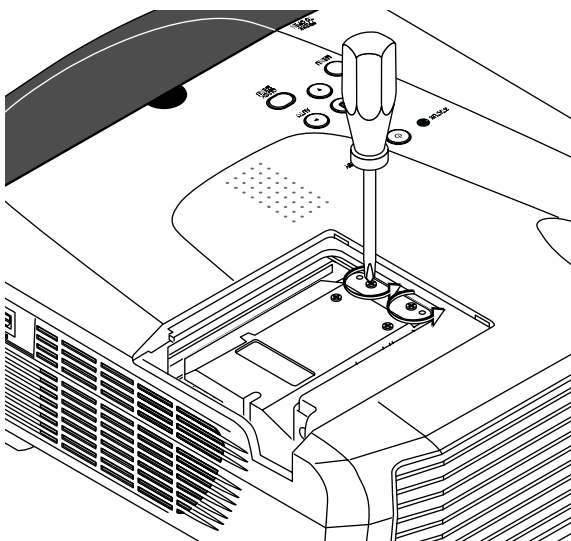


(2) ランプカバーを少し開けてから、矢印方向に引いて取り外す。

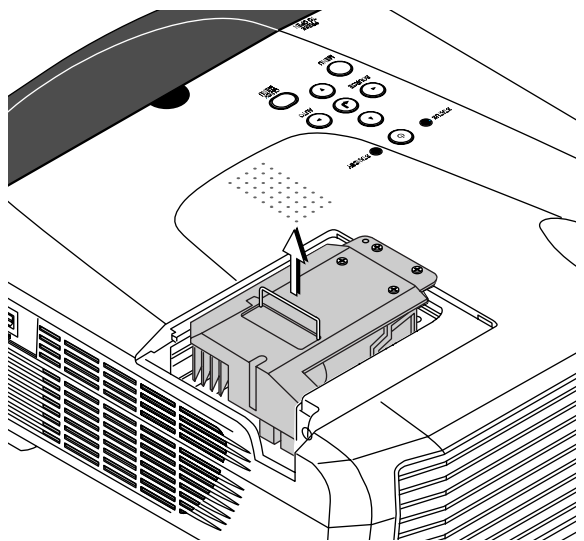


3. ランプカートリッジを取り外す

(1) ランプカートリッジのネジ2本を左へ空回りするまでゆるめます（ネジは外れません）。

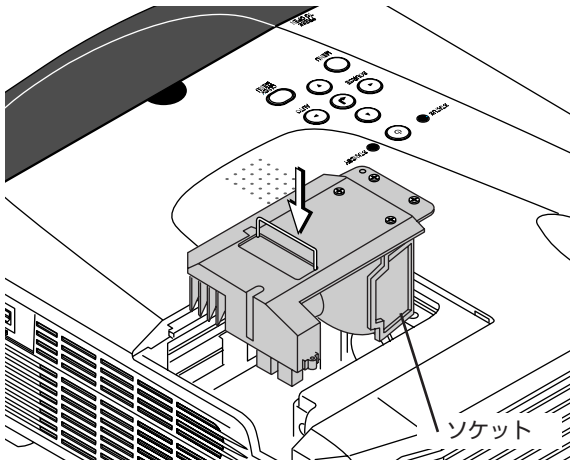


(2) ランプカートリッジの取っ手を持って上に引いて、取り外します。

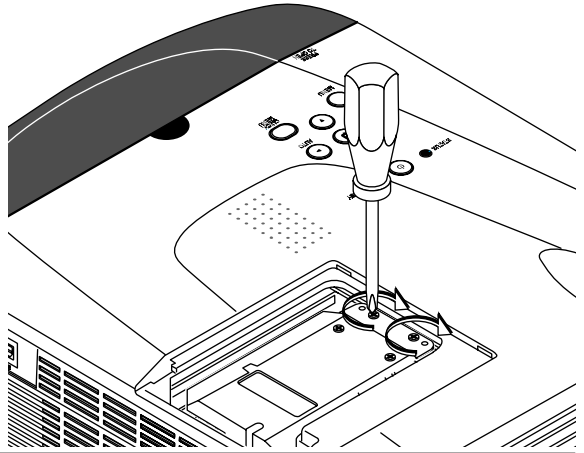


4. 新しいランプカートリッジを取り付ける

(1) ランプカートリッジのソケットを左にして、ゆっくり押し込みます。
(本体のネジ穴に合わせてください。)

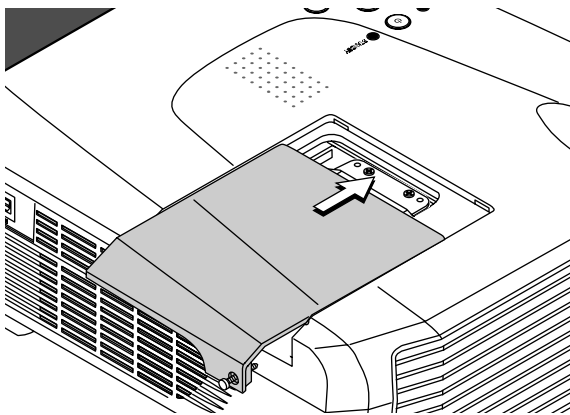


(2) ランプカートリッジのネジ2本を右へ回して締めます。

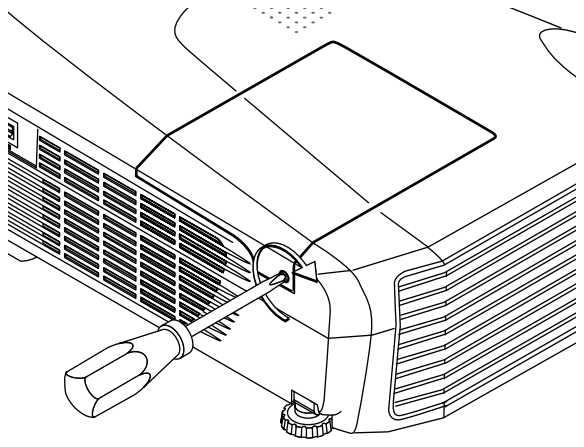


5. ランプカバーを取り付ける。

(1) ランプカバーの先を本体に入れてからランプカバーを閉めます。



(2) ランプカバーのネジを右へ回して締めます。



6. ランプ使用時間をリセットする。

電源コードを接続し、電源を入れてから行います。

メニューの【情報】→【ランプ使用時間リセット】を選択してENTERボタンを押してください。初期化確認表示に変わります。さらにENTERボタンを押します。→61ページ「ランプ使用時間リセット」

お知らせ

- ランプ寿命から100時間使用すると電源が入らなくなります。そのような場合は、スタンバイ状態で本体のSOURCEボタンとAUTOを5秒以上同時に押すとランプ使用時間がクリアされます。クリアされたかどうかは、STATUSインジケータが消灯することで確認できます。
交換用ランプは販売店で求めください。ご注文の際はU7-132SF/U7-132hSF/U7-137SF専用交換用ランプ型名U7-300（注文コード28-057）とご指定ください。

仕様

製品型式名		U7-137SF	U7-132hSF	U7-132SF
投映方式		DLP™ (単板DMD) 方式		
主要部 品仕 様	DMD	サイズ	0.7型	
		画素数	786,432画素 (1024×768)	
	投映レンズ	マニュアルフォーカス/マニュアルズーム (×1.2) F=2.6~2.8 f=22.1~25.6mm		
	光源	300W 超高压水銀灯		
光学装置	ダイクロミックフィルタによる光時分割合成方式			
画面サイズ	最小	34型 (投映距離 1.2m テレ時)		
	最大	300型 (投映距離 9.47m ワイド時)		
色再現性		フルカラー (1.677万色)		
明るさ (ノーマリーホワイト)	標準時	3500ルーメン ^(*)		3000ルーメン ^(*)
	エコモード時	通常時の約80%の輝度で投映		
コントラスト比		2000 : 1 (フル オン・オフ)		
音声出力		0.5W モノラルスピーカ内蔵		
走査周波数	水平	15~80kHz		
	垂直	50~85Hz		
R G B 入 出 力	RGB入力信号	信号方式	アナログ: セパレート信号方式、デジタル: TMDS方式	
		映像信号	アナログ: 0.7Vp-p/75Ω、デジタル: DVI-I	
		同期信号	セパレート/コンポジット: TTLレベル (正/負) シンクオングリーン: 0.3Vp-p 負 (映像0.7Vp-p 正)	
	RGB入力端子	映像	ミニD-Sub15ピン (アナログRGB/YCbCr/YPbPr共通) × 1 DVI-I 29ピン (デジタルRGB/アナログRGB/YCbCr/YPbPr共通) × 1	
RGB出力端子	映像	ミニD-Sub15ピン (アナログRGB/YCbCr/YPbPr共通) × 1		
	対応解像度	VGA (640×480) 拡大・リアル表示 S-VGA (800×600) 拡大・リアル表示 XGA (1024×768) リアル表示 S-XGA (1280×1024) 圧縮表示		
ビ テ オ 入 力	入力信号	信号方式	NTSC 3.58、NTSC 4.43、PAL、PAL N、PAL M、PAL60、SECAM YCbCr (NTSC、PALのみ)、YPbPr (480p、576p、1080i、720p)	
		映像信号	コンポジット: 1.0Vp-p/75Ω、コンポーネント: 1.0Vp-p/75Ω S-ビデオ端子: Y信号 (1.0Vp-p/75Ω)、C信号 (0.286Vp-p/75Ω)	
	入力端子	映像	RCA (ビデオ) × 1、ミニDIN4ピン (S-ビデオ) × 1、 ミニD-Sub15ピン (アナログRGB/YCbCr/YPbPr共通)、 DVI-I 29ピン (デジタルRGB/アナログRGB/YCbCr/YPbPr共通)	
	水平解像度	NTSC: 550本		
音声信号		0.4Vrms/47kΩ		
音声入力端子		ステレオミニジャック (φ3.5mm) × 1 (RGB/ビデオ共通)		
その他端子		USB (Type A) × 2 (イメージビューワ/マウス) CFA仕様コンパクトフラッシュカード用×1 (ワイヤレス/イメージビューワ共通) RJ45 (10BaseT/100BaseTX) × 1 USB (Mini-B) × 1 (リモートマウス) ミニDIN9ピン (RS232C) × 1 プロジェクタ制御	なし	
プロジェクタ制御		RS-232CまたはLAN経由のTelnet (当社プロジェクタ制御コマンド使用)	RS-232C	
使用環境		動作温度: 5℃~35℃ 動作湿度: 30~85% (ただし結露しないこと)		
電源		AC 100 V、50/60Hz		
定格入力電流		4.3A		
消費電力		定格: 430W、エコモード時: 380W		
待機時電力		20W以下		15W以下
外形寸法		258 (幅) × 83 (高さ) × 320 (奥行) mm (突起部含まず)		
質量		3.1kg		3.0kg
付属品		レンズキャップ (本体に装着)、リモコン (レーザーポインタ付き)、リモコン用電池 (単4×2)、 電源コード (1.8m)、RGB信号ケーブル (ミニD-Sub15ピン/2m)、S-ビデオケーブル (ミニDIN 4ピン/2m)、 ビデオケーブル (RCAピン/2m)、オーディオケーブル (φ3.5mmプラグ/2m)、オーディオ変換アダプタ (φ3.5mmジャック-RCAピン/15cm)、DVI-RGB変換アダプタ (DVI-ミニD-Sub15ピン/18cm)、 USBケーブル (Mini-B-Type A/2m) 収納ケース、取扱説明書 (CD-ROM版)、取扱説明書 (簡易版)、保証書、FAX発信用ユーザー登録用紙、セキュリティシート、セキュリティラベル、AC変換アダプタ (3P→2Pアース付き) プロジェクタ専用無線LANカード (コンパクトフラッシュ™タイプ)、ワイヤレス注意シール		

(*) ダイナミックモード時

- この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。
- 本製品の仕様は国内向けです。本体付属の電源コードは国内向けAC100V仕様なので海外では使用できません。日本以外で本製品を使用する場合は、販売店または、弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。また、外国では放送方式が異なりますので、よくお確かめの上ご使用ください。

対応周波数一覧表

本機はパソコンなどからの入力信号を自動で識別し、下表に対応する最適な解像度を選びます。

入力信号によっては手動での調整が必要な場合もあります。

→ 49、50ページ「クロック周波数/位相/水平位置/垂直位置」をご覧ください。

パーソナル コンピュータ	解像度	走査周波数		対応状況			
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)	ビデオ	コンポーネント	デジタル	アナログ
ビデオ (NTSC)	—	15.734	60.0	○	○	—	—
ビデオ (PAL/SECAM)	—	15.625	50.0	○	○	—	—
PC/AT 互換機	640 × 350	31.5	70.1	—	—	○	○
	640 × 400	31.5	70.1	—	—	○	○
	720 × 350	31.5	70.0	—	—	○	○
	720 × 400	31.5	70.0	—	—	○	○
VESA	640 × 350	37.9	85.1	—	—	○	○
	640 × 400	37.9	85.1	—	—	○	○
	720 × 400	37.9	85.0	—	—	○	○
	640 × 480	31.5	60.0	—	—	○	○
	640 × 480	37.9	72.8	—	—	○	○
	640 × 480	37.5	75.0	—	—	○	○
	640 × 480	43.3	85.0	—	—	○	○
	800 × 600	35.2	56.3	—	—	○	○
	800 × 600	37.9	60.3	—	—	○	○
	800 × 600	46.9	75.0	—	—	○	○
	800 × 600	48.1	72.2	—	—	○	○
	800 × 600	53.7	85.1	—	—	○	○
	1024 × 768	48.4	60.0	—	—	○	○
	1024 × 768	56.5	70.1	—	—	○	○
Apple Macintosh	640 × 480	35.0	66.7	—	—	○	○
	832 × 624	49.7	74.5	—	—	○	○
	1024 × 768	60.2	74.9	—	—	○	○
	1152 × 870	68.7	75.1	—	—	○	○
HDTV (1080i)	1920 × 1080	33.8	60.0	—	○	—	—
	1920 × 1080 (720p)	28.1	50.0	—	○	—	—
EDTV (576p)	720 × 576	31.3	50.0	—	○	—	—
	720 × 480 (480p)	31.5	60.0	—	○	—	—
SDTV (576i)	720 × 576	31.3	50.0	—	○	—	—
	720 × 480 (480i)	31.5	60.0	—	○	—	—

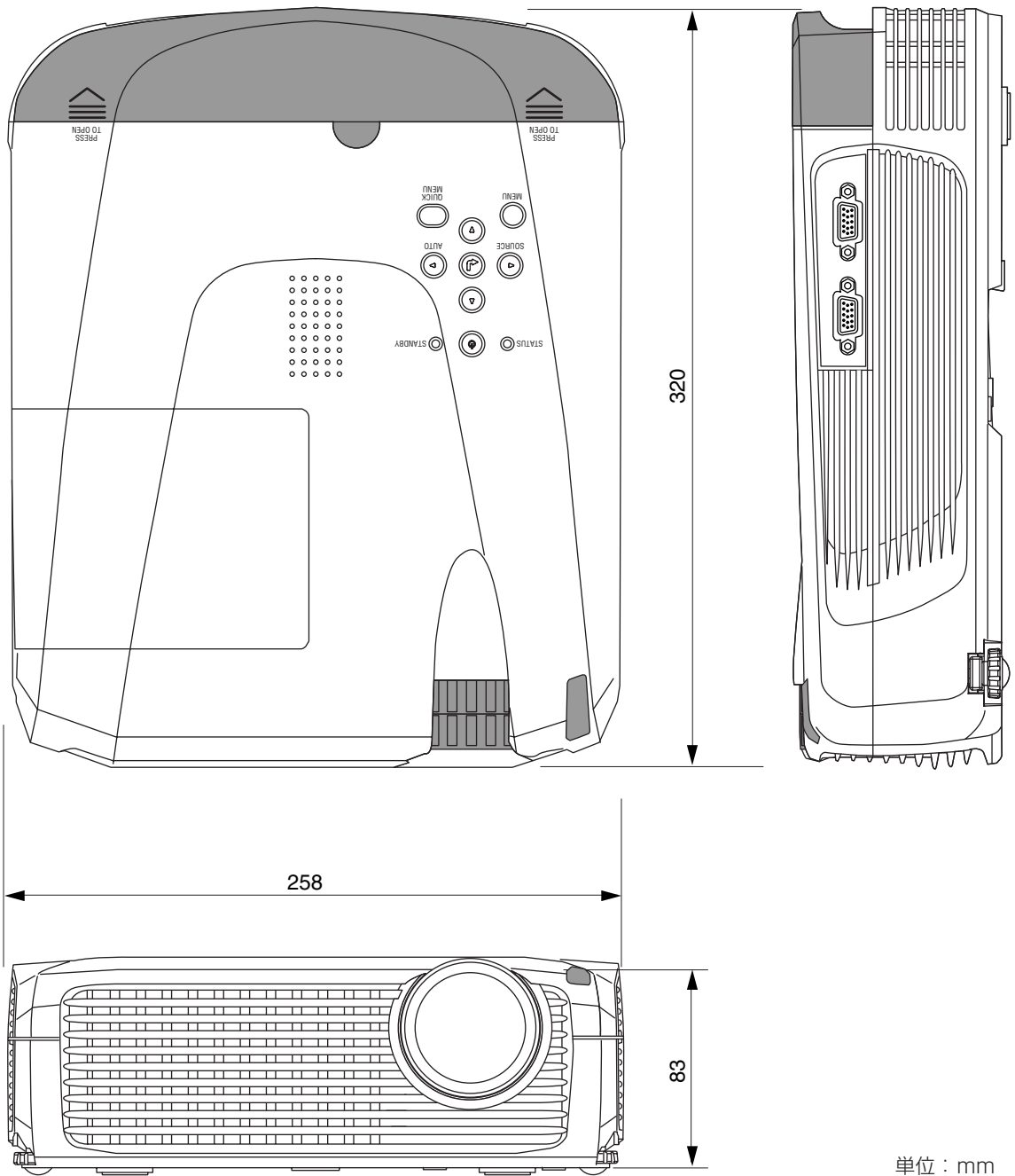
※ Apple MacintoshのADCコネクタは非対応です。

○印：対応可能周波数

—印：非対応周波数

表示画素数は1024×768ドットです。1280×1024等、1024×768ドット以外の表示解像度を表示する際、文字や罫線の大きさなどが不均一になる場合があります。

外觀圖



單位：mm

アフターサービス

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。お近くの販売店または弊社「カスタマーセンター」にお申し出ください。なお、保証、使い方などのご不明の点につきましても、販売店または弊社「カスタマーセンター」をご利用ください。

無料修理

故障した製品については、ご購入年月日、販売店名の記入された保証書（ご購入日より1年以内のもの）が添付されている場合には、無料修理させていただきます。その際修理は、保証書に記載されている内容の範囲内に限らせていただきます。詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料になります。保証期間内であっても、下記の様な場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にご負担願います。

1. 修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
2. 保証書にご購入年月日、販売店名が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
3. 弊社または販売店以外で分解、改造されたもの。
4. 火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
5. お取り扱い上の不注意（取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、手掛かり、砂・泥の付着、機内部への水・砂・泥の入り込みなど）、保管上の不備（高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管）、お手入れの不備（かび発生など）により生じた故障。
6. 上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
7. 各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

修理不能

浸（冠）水、強度の衝撃その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合がありますので、お近くの弊社または販売店にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本プロジェクトの補修用性能部品を製造打切り後、最低8年保有しています。（性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理お申し出になる場合は、必ず保証書を添えてください。
2. ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
3. 修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなる場合があります。
4. 修理に関係のない付属物は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手もとに保管してください。
5. 弊社指定工場修理の場合、ご購入時の外箱に入れて梱包してください。

PLUS Vision Corp.

プラスビジョン株式会社

〒170-0013 東京都豊島区東池袋4-41-24 東池袋センタービル
www.plus-vision.com

プラスビジョン カスタマーセンター

TEL ☎ 0120-331-059



ISO 14001 認証取得
プラスビジョン
NQE-0210118A



ISO 9001 認証取得
プラスビジョン
12 100 17398 TMS

弊社カスタマーセンターお問い合わせ方法

お問い合わせの際には下記の項目を事前にご確認ください。

- 弊社製品名、シリアル番号
- プロジェクタに接続している機器の種類
(PC/DVD 機種名/OSバージョン)
- プロジェクタと接続している機器との接続方法
(ケーブル類等)
- 具体的な症状
(インジケータの点滅等)

■ プラスビジョンカスタマーセンター

TEL : 0120 - 331 - 059

(携帯・PHS・衛星電話からもご利用いただけます。)

FAX : 0120 - 331 - 859

→ [FAXお問い合わせフォーム](#)

URL : <http://www.plus-vision.com/jp/contact.html>